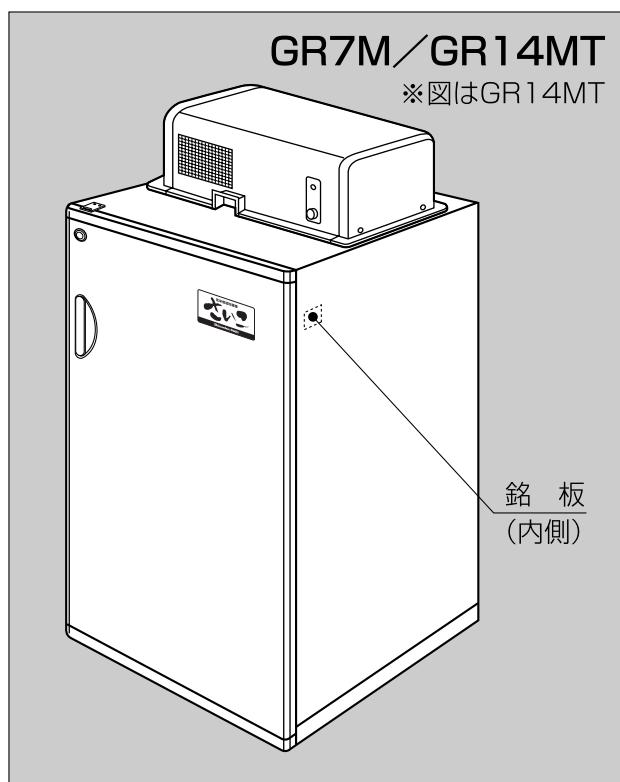
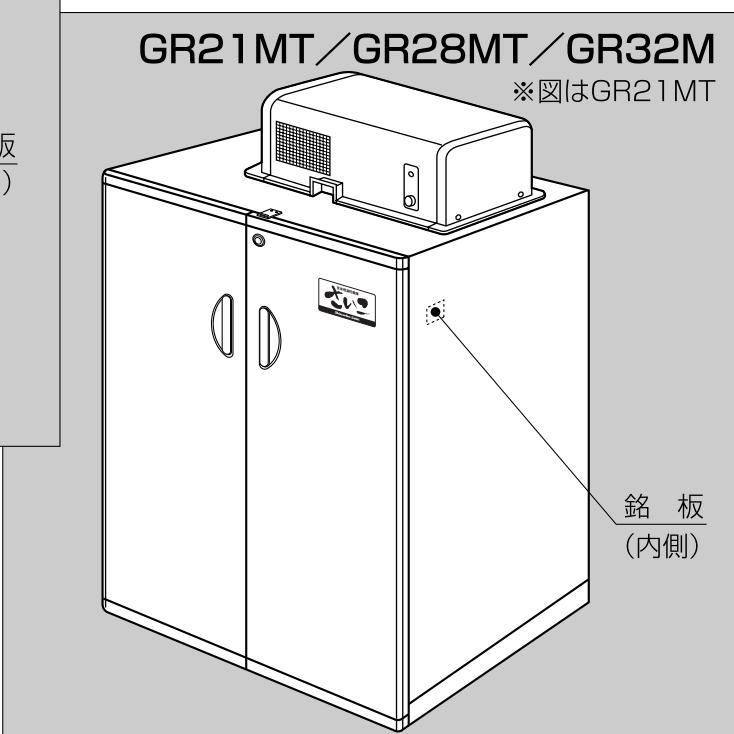
●この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取扱いをしてください。
●この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

静岡製機株式会社

ご使用の前に

1.この機械を使用する前に、この取扱説明書をまっ先に十分お読みください。
　その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
2.この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
　従って機械の運転、保守・点検および組立を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
3.この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か、本社営業部（⑨連絡先参照）にお問い合わせください。
4.この取扱説明書が必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。
　紛失した場合は、購入先へ注文してください。
5.この機械の組立にあたっては、この取扱説明書の（⑥ 組立要領）の項をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上で、安全に注意して組立してください。

機械の型式名のご確認

機械の型式名と製造番号が銘板に記入されています。
ご確認の上、次ページの保証書の記入欄に書入れてください。
購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名を一緒にご連絡ください。

保　証　書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

1.保証期間　納入日から起算して満1ヵ年です。

2.保証内容　保証期間中に、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれた場合、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、又は、修理を無料でいたします。

3.適用除外　保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。

（1）使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。
（2）弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合。
（3）弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
（4）弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
（5）弊社製品の取扱先又は、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合。
（6）故障判定資料の不充分なもの、及び損傷部品を紛失された場合。
（7）消耗部品。
（8）保証書の提示がない場合は有償となることがあります。
（9）保証書を紛失した場合は再発行いたしません。

4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、**製造打ち切り後6年**といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

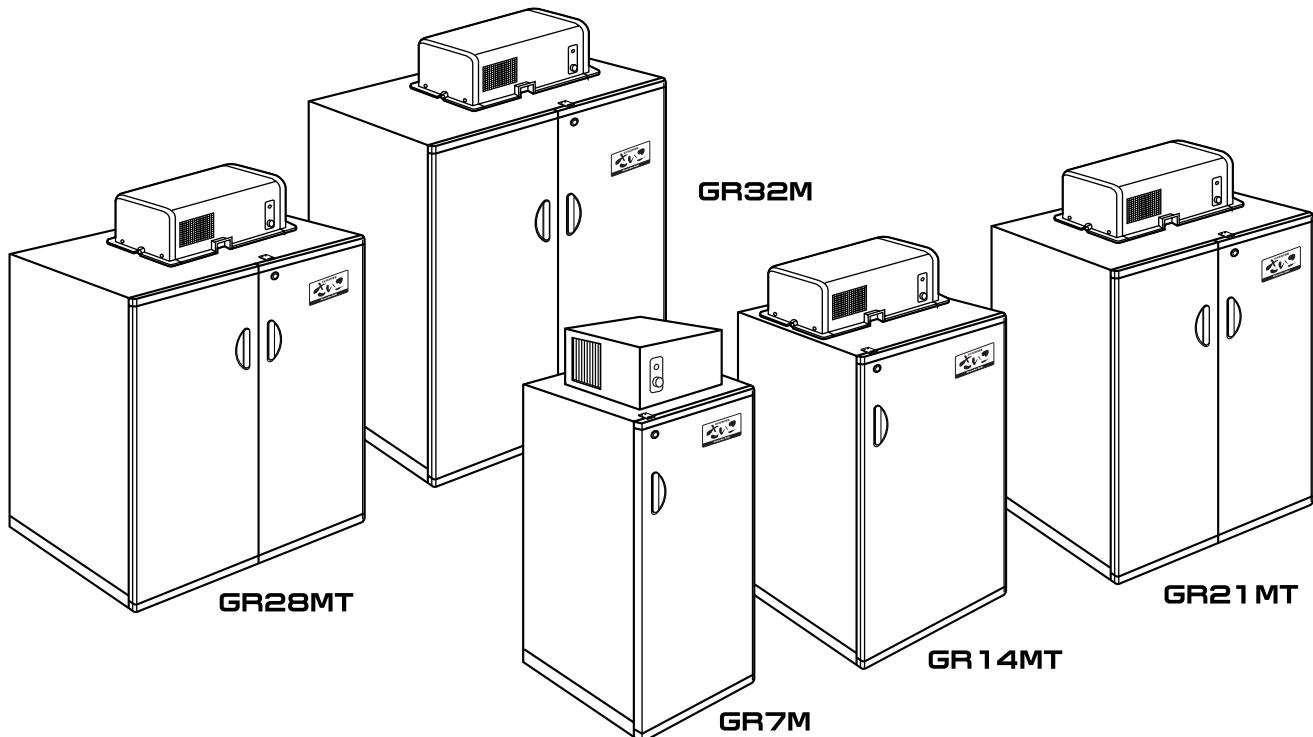
※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

静岡製機株式会社
静岡県袋井市山名町4-1

1.お買い上げ製品	（機種名）　GR
2.製　造　番　号	
3.年　　月　　日	年　　月　　日
4.組 付 者 氏 名	取扱先名
	氏　　名

目　次

1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・範囲・構成及び使用電源について説明しています。

1.取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検、組立要領及び保守部品の説明が記載されています。

2.機械の使用目的・使用範囲

この機械は、**玄米貯蔵庫**として設計されています。

玄米以外の物（野菜や果実）を保冷する目的には使用しないでください。

この機械の温度設定範囲は**9℃～15℃**です。

玄米を貯蔵する場合は**2年間程度**が限度です。

この機械では予冷はできません。

3.機械の構成

この機械は、本体と冷蔵ユニット、すのこ、棚（GR14MT、GR21MT、GR28MTのみ標準）で一式になっています。

4.使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**で、電源電圧が90～110Vの範囲でご使用になれます。
200V電源では、絶対に使用しないでください。

2 安全について

この機械を取扱う前に必ずお読みください。
この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての
注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

2.1.警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容、及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合に従って次の2段階に分けています。
この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検、組立を行ってください。

危険等を喚起する 表示・標識の種類	喚 起 す る 内 容
⚠ 警 告	**「警告」**の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、**死亡又は重傷事故**につながることがあり、**充分ご注意**いただきたい内容です。
⚠ 注 意	**「注意」**の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、**ケガなどの事故**につながることがあり、**ご注意**いただきたい内容です。

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、上の警告事項とは区別しています。

重 要

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。

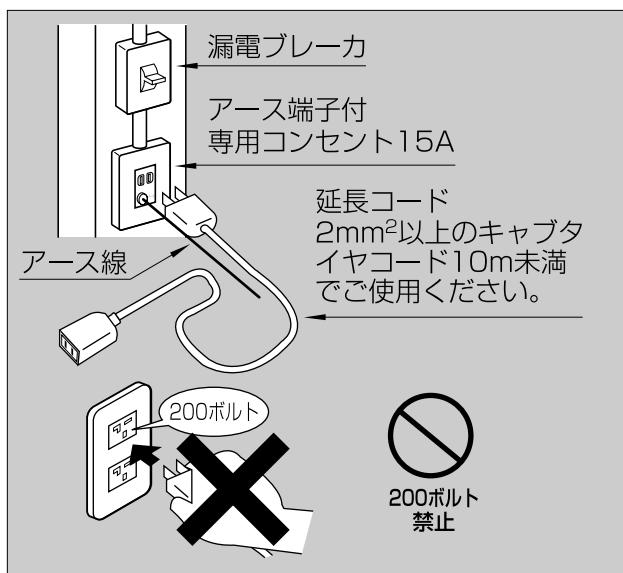
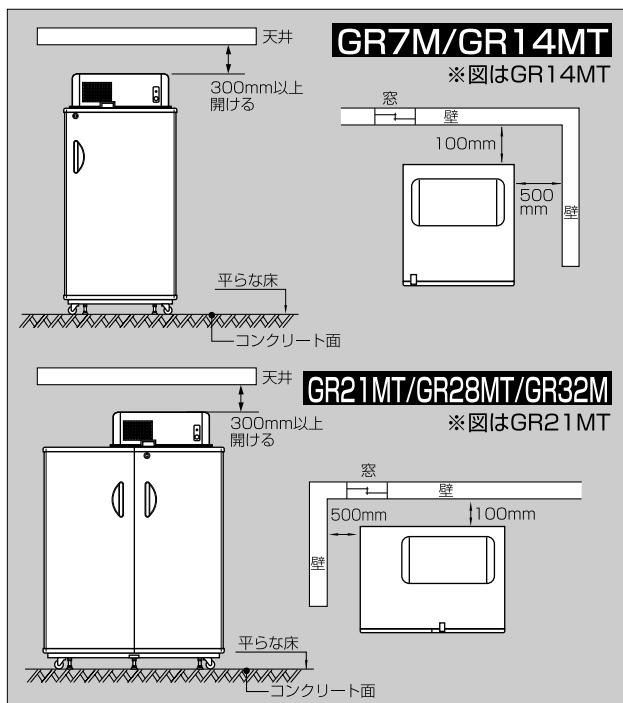
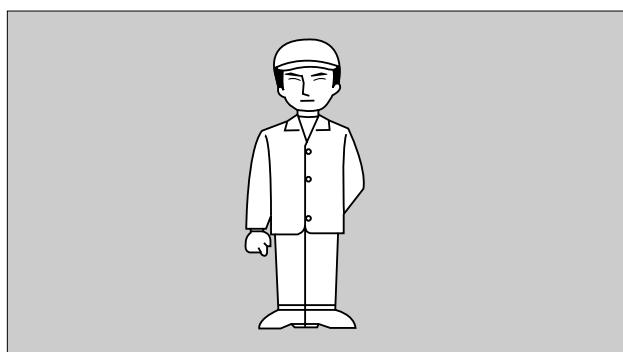
注 意

一般的な留意事項

⚠ 注 意

- **この機械の運転操作、保守・点検、組立は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。**
- **取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、(9.連絡先)にお問合せ、確認してから作業を始めてください。**

2.2.安全に作業を行うための注意事項

安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。

1 作業者の服装と健康

- ●作業に適した服装と靴で作業してください。
- ●過労や病気、酒気おびの状態で作業しないでください。
- ●米袋の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。
  また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
- ●頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

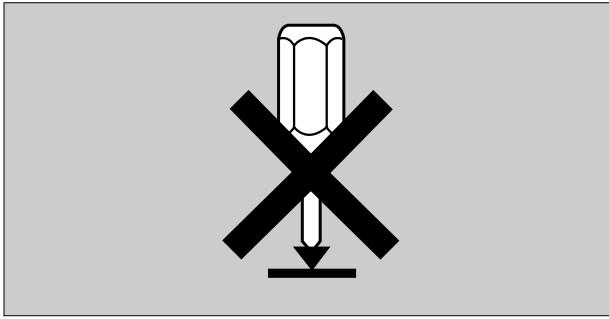
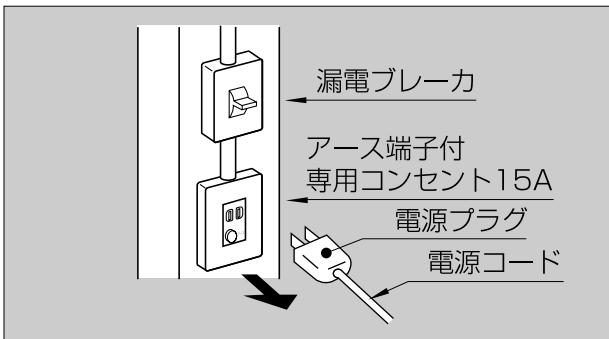
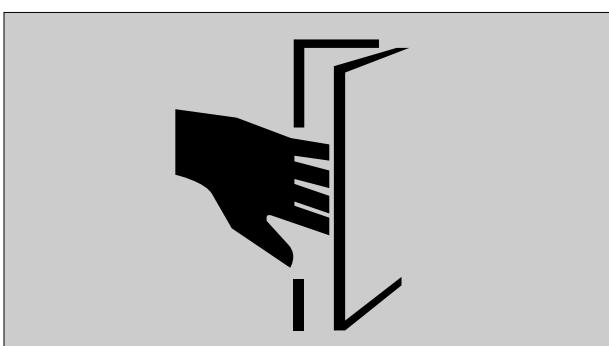
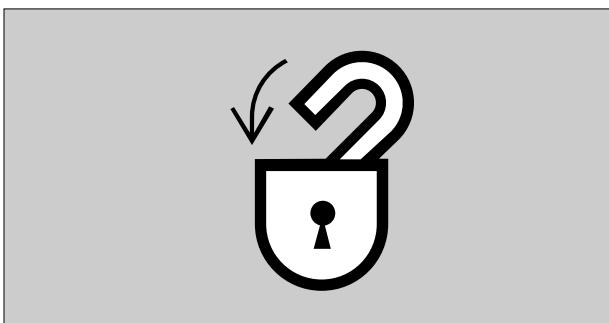
2 作業場の整備

- ●この機械は**屋内設置**用として設計・製作されていますので、屋根のある風通しの良い場所に設置してください。
- ●設置場所は平らな所で、**ひずみのないしっかりした床面**を選んでください。土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。
- ●直射日光が本体に当たらないようにしてください。
- ●機械の回りにスペースを確保してください。
- ●換気の悪い場所に設置しないでください。
  万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の恐れがあります。

3 電源配線とアース

- ●この機械は**交流100V専用**です。
- ●交流200Vは絶対に使用しないでください。
- ●機械の電源は感電事故防止のために、**漏電ブレーカ(15mAまたは30mA)があるコンセント(15A)から配線**してください。
- ●延長コードは電圧降下を防止するために**2mm²以上の太さで、10m未満の長さ**にしてください。
- ●他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
- ●感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。

重 要

上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。

4 使用中の安全

●カギを掛けてください。
子供が庫内に入ってドアを閉めた場合、子供の力では開かないことがあります。
●カギを掛ける時は、庫内に人が入っていないことを確認してください。

●ドアは取手を持って閉めてください。
ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
●2枚ドアの中央部や、ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。

●本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。
転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。
また、機械が変形することがあります。

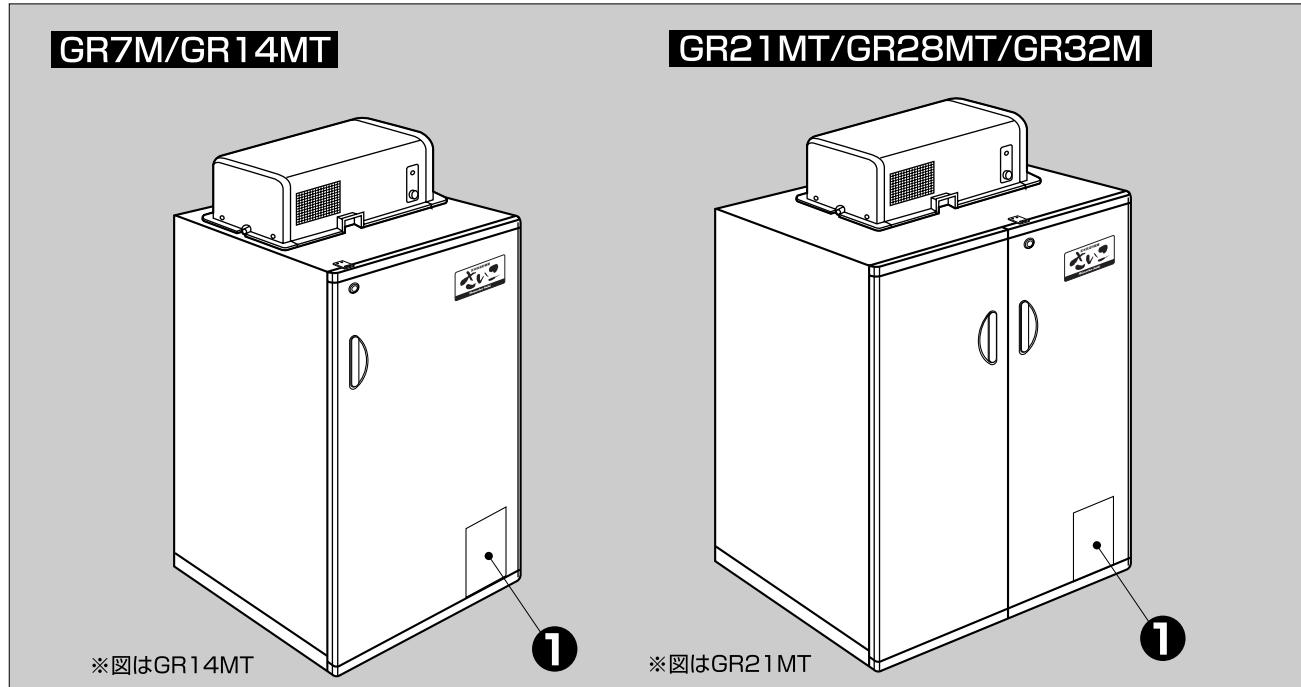
5 掃除・点検・整備の時の安全

●各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
●電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
●修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。
感電・火災・ケガ・故障の原因になります。

2.3.警告表示ラベルについて

機械の特に注意を要する箇所に警告表示ラベルが貼ってあります。
これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

2.3.1.警告表示ラベルの貼付位置

警告表示ラベルの貼付位置は次の通りです。

図面表示番号	標識	名　称	貼　付　位　置	品　番
1	警告	本体警告・注意ラベル	ド　ア	10786-200010
	注意			

2.3.2.警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。
警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは新しいラベルに貼替えてください。
ラベルは購入先へ注文してください。

安全上のご注意

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みになって、正しい取り扱いで安全に心がけてください。

⚠ 警　告

感電・火災・死傷事故をふせぐために
- ●電源を入れる前に必ずアース線を接続してください。
- ●定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
- ●水につけたり水をかけたりしないでください。
- ●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
- ●修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理・改造を行わないでください。
- ●凝縮器のフィンに素手でさわらないでください。
- ●本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置かないでください。
- ●庫内に人が入ったまま、ドアを閉めないでください。
  子供の力ではドアが開かないことがあります。
- ●カギを掛けてください。また、カギを掛ける時は、必ず庫内に人がいないことを確認してください。

⚠ 注　意

傷害事故をふせぐために
- ●冷蔵ユニットのカバーを外したまま運転しないでください。
- ●指や手などをはさむ恐れがありますので、ドアは取手を持って閉めてください。

- ●梅雨時など湿度が高い時には、本体の表面に結露することがありますが、故障ではありません。
  やわらかい布で拭き取り、風通しをよくしてください。

>PET<

3 機械の仕様、構成、使用範囲

この章では、機械の主な仕様、構成、使用範囲について説明しています。

3.1.機械の仕様

3.1.1.主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

名称		玄米低温貯蔵庫	
型式		GR7M	GR14MT
寸法	外寸(奥行×幅×全高mm)	818×641×1853	967×866×1860
	本体(奥行×幅×全高mm)	818×641×1600	967×866×1620
	内寸(奥行×幅×全高mm)	705×536×1400	855×760×1400
有効容積(ℓ)		498	857
製品質量(kg)		74	105
電源(V/Hz)		単相100V・50／60Hz	
消費電力(W)	冷蔵ユニット	170／200(50／60Hz)	213／215(50／60Hz)
冷媒		HFC-134a	
制御温度(庫内)(℃)		9～15	
使用周囲温度(℃)		5～35	
使用周囲湿度(%RH)		40～85	
付属品		すのこ・温度計・排水ホース	
棚		別売	標準

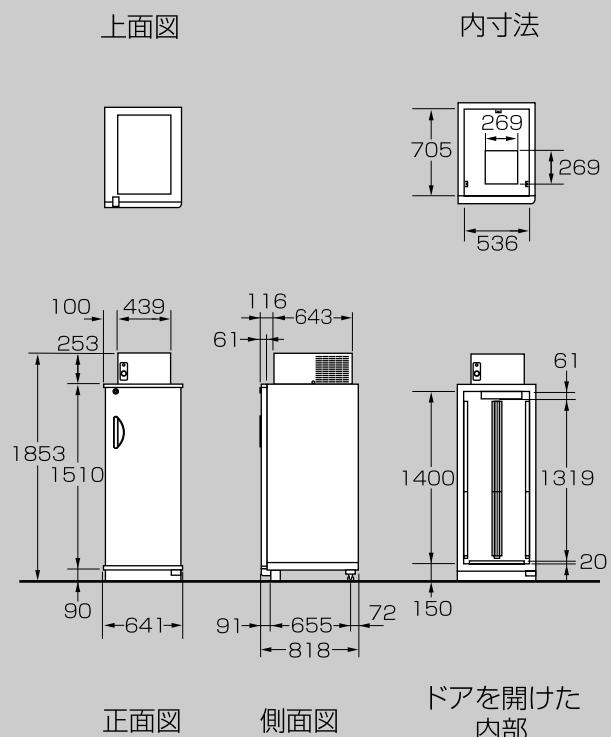
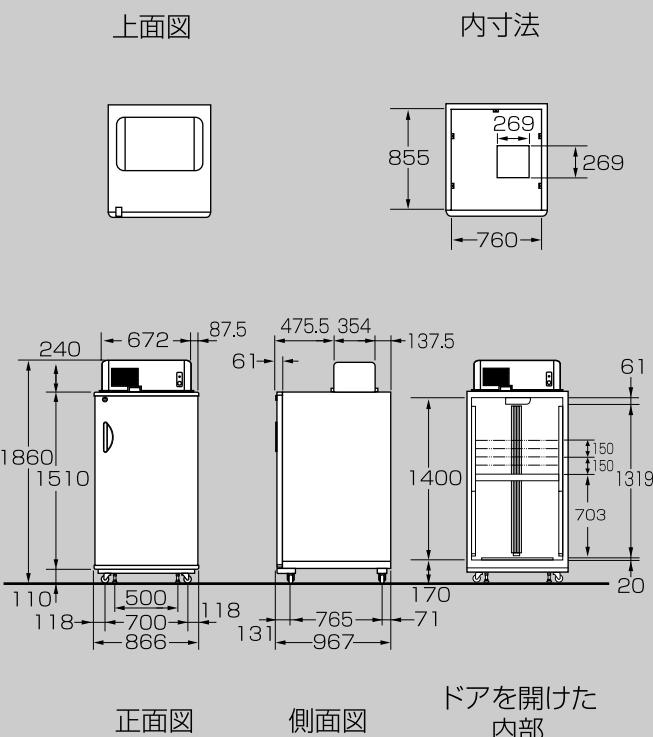
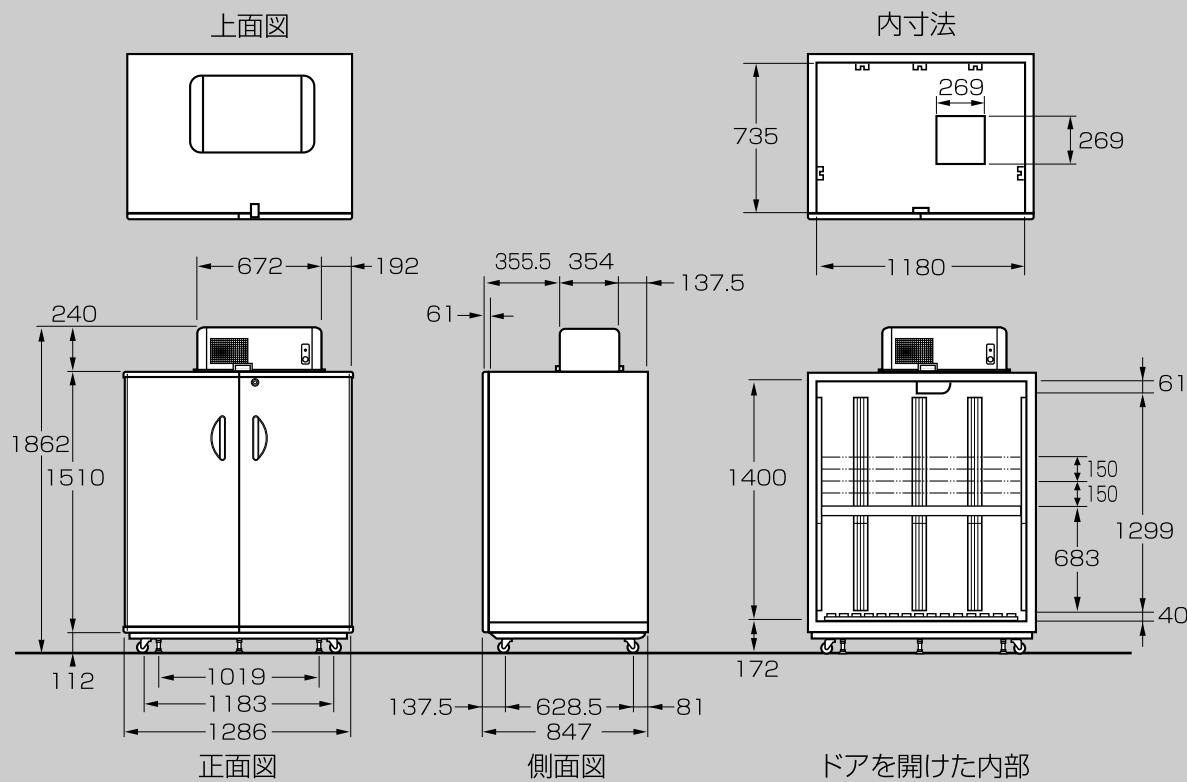
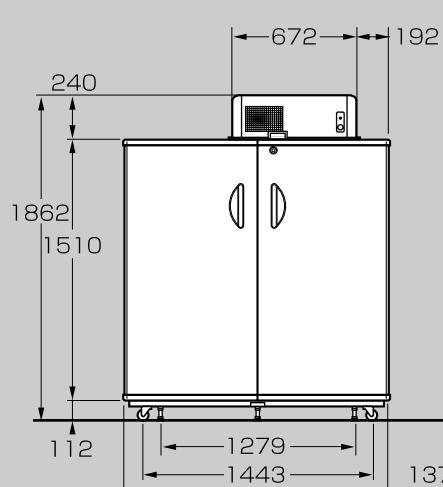
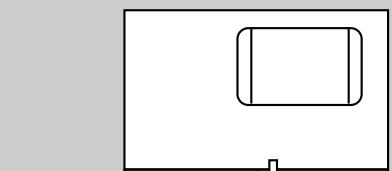
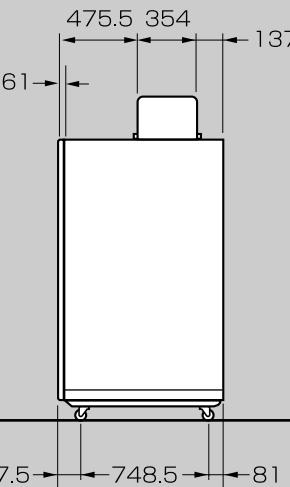
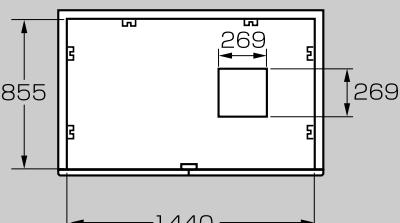
名称		玄米低温貯蔵庫		
型式		GR21MT	GR28MT	GR32M
寸法	外寸(奥行×幅×全高mm)	847×1286×1862	967×1546×1862	967×1546×2082
	本体(奥行×幅×全高mm)	847×1286×1622	967×1546×1622	967×1546×1842
	内寸(奥行×幅×全高mm)	735×1180×1400	855×1440×1400	855×1440×1620
有効容積(ℓ)		1126	1599	1870
製品質量(kg)		135	159	153
電源(V/Hz)		単相100V・50／60Hz		
消費電力(W)	冷蔵ユニット	240／260(50／60Hz)		
冷媒		HFC-134a		
制御温度(庫内)(℃)		9～15		
使用周囲温度(℃)		5～35		
使用周囲湿度(%RH)		40～85		
付属品		すのこ・温度計・排水ホース・アジャストボルト		
棚		標準		別売

電源コードの長さ：2m（GR7M）
3m

3.1.2.機械の据付寸法図

機械の主な据付寸法は次の通りです。

●棚は3段階の高さ調節が可能です。

単位：mm

単位：mm

GR28MT
上面図
内寸法
269
855
269
1440
672
192
475.5 354
137.5
240
61
61
1862
1510
1400
150
150
1299
683
40
112
172
1279
1443
1546
137.5
748.5
81
967
正面図
側面図
ドアを開けた内部
GR32M
上面図
内寸法
269
855
269
1440
672
192
475.5 354
137.5
240
61
61
2082
1730
1620
1519
40
112
172
1279
1443
1546
137.5
748.5
81
967
正面図
側面図
ドアを開けた内部

3.2.機械の構成

機械の構成を次に示します。

GR7M/GR14MT ※図はGR14MT

本体外部図

冷蔵ユニット
排水ホース
温度調節器
取　手
ド　ア
本　体

ドア・オープン図(開放)

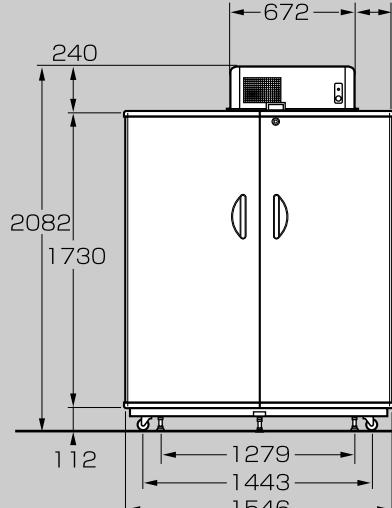
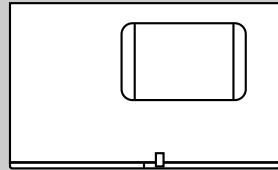
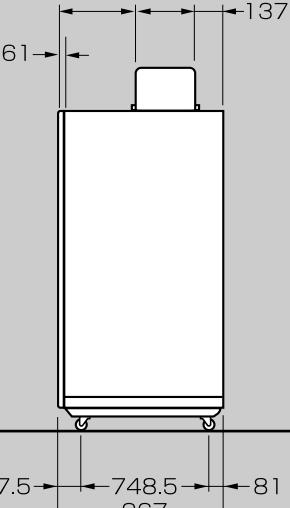
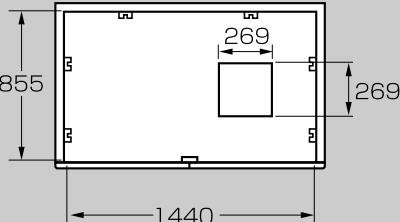
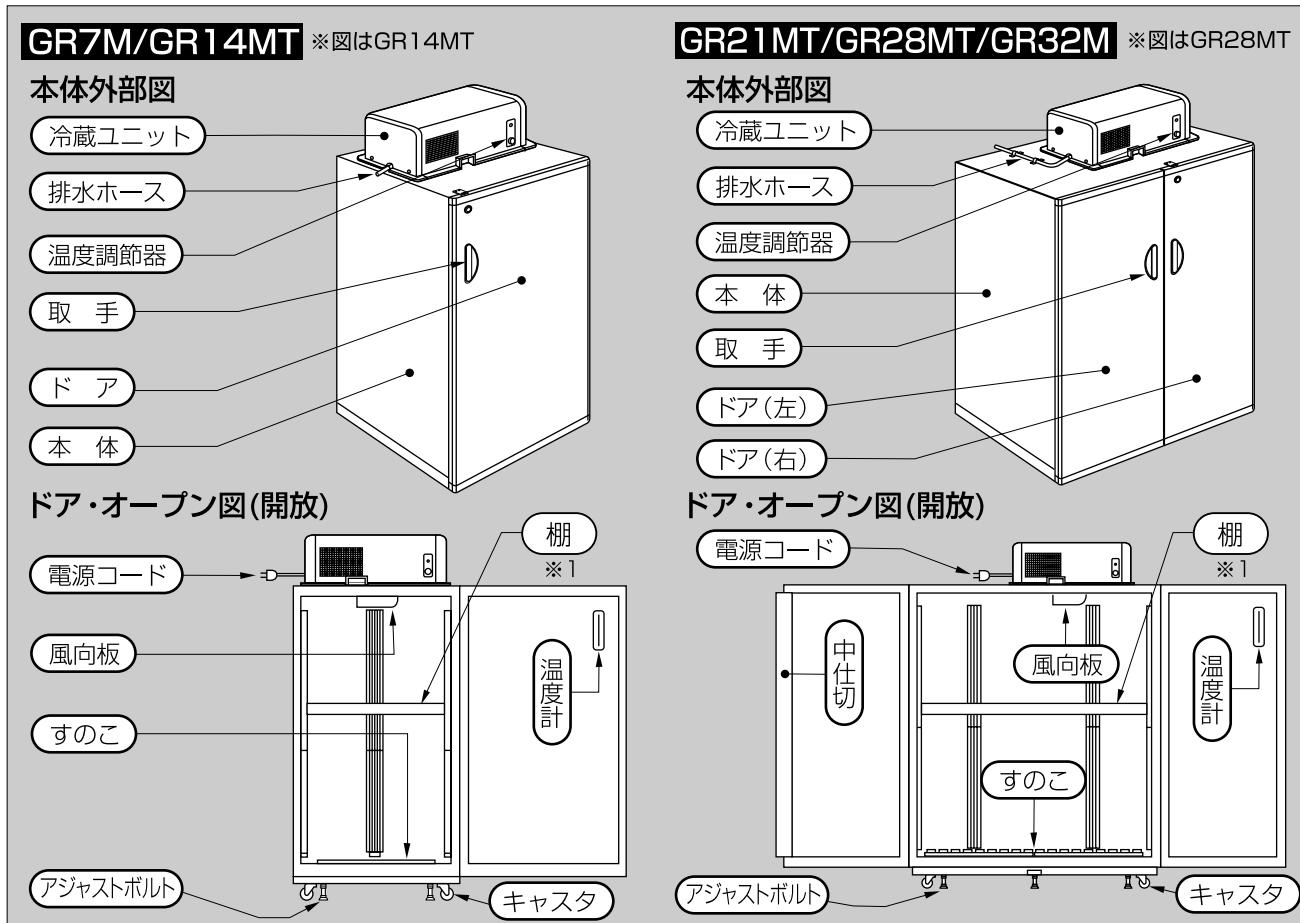
電源コード
風向板
すのこ
アジャストボルト
棚 ※1
温度計
キャスタ

GR21MT/GR28MT/GR32M ※図はGR28MT

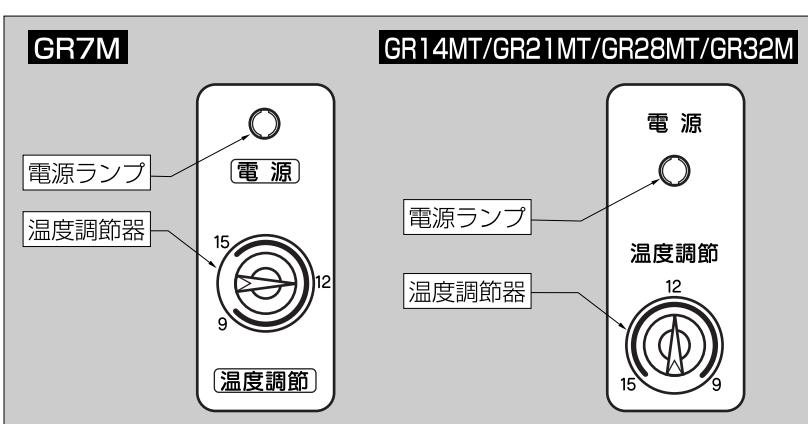
本体外部図

冷蔵ユニット
排水ホース
温度調節器
本　体
取　手
ドア(左)
ドア(右)

ドア・オープン図(開放)

電源コード
棚 ※1
中仕切
風向板
温度計
すのこ
アジャストボルト
キャスタ

※1:GR14MT、GR21MT、GR28MTは標準で付属しますが、GR7M、GR32Mは別売になります。

3.3.機械の使用範囲

- この機械は**玄米保冷庫**として使用できます。
  保冷とは、玄米の温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- この機械は、野菜類の保冷用としては使用できません。
  玄米以外のもの（野菜、いも類や果物など）を保冷する目的に使わないでください。
- この機械の設定温度は**9℃～15℃**です。
- この機械には**加温機能がありません。**
  設定温度以下に外気温度が下がると庫内の温度も外気温度に応じて下がります。
  ただし、本体の断熱性により、庫内表示温度と外気温度には、時間的なズレがあり、必ずしも同じ温度を表示するわけではありません。
- 設置場所を変える場合は、内部の貯蔵物を出してから移動してください。

4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項と使用方法について説明しています。

4.1.使用上の注意事項

この機械は**屋内用に設計・製造**されていますので、次の注意事項をお守りください。
棚に関する注意事項はP31を参照ください。

1.設置

注意事項	注意事項が守れなかった場合の不具合
1.雨や直射日光が当たらない所。	1.ショート・感電したりサビが発生することがあります。また、寿命が短くなったり、庫内の温度が上昇することがあります。
2.風通しが良くて、湿気の少ない所。	2.機械の周囲が湿り、本体外壁に水滴がつくことがあります。
3.床面がしっかりした、平らな所。	3.振動音の発生や、ドアの密閉が悪くなり、冷気が漏れることがあります。 貯蔵物の重量で床が変形し、ドアにすきまが出ることがあります。 本体の水平がくずれて、庫内に水滴が落ちてくることがあります。
4.本体の回りに保守スペースが取れる所。	4.冷蔵ユニットは点検と掃除が必要です。これを怠ると冷蔵ユニットの寿命が短くなります。
5.貯蔵庫の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。	5.アルミ製のフィンが腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
6.ドアには上から力を加えないでください。	6.鍵がかからなくなります。本体とマグネットパッキンの間にすき間ができ庫内が結露したり、冷気が漏れることがあります。

2.貯蔵

注意事項	注意事項が守れなかった場合の不具合
1.米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。（長期貯蔵は15%以下が良い。）	1.玄米水分が高すぎるとたとえ低温でもカビが発生したり、玄米が固まったりすることがあります。また、袋に入れずに裸で貯蔵すると乾燥します。
2.籾摺り、精米などを行う場合は、取り出してから外気温度と同じにしてから行ってください。	2.籾、又は、玄米の表面に水滴がつき、玄米が割れたり、精米後、白米の表面がひび割れすることがあります。
3.熱いものは外気温度と同じにしてから入れてください。	3.熱いものを冷やすのに時間がかかりますし、電気代もかかります。
4.庫内の壁に密着して物を入れないでください。	4.冷気が循環できなくて、冷えない場所ができてしまいます。また壁に密着しているところは湿ります。
5.ドアの開閉回数を少なくしてください。	5.1日に何回もドアを開閉すると、庫内の湿度が上がります。庫内湿度が上がると、玄米水分が上がったりカビが発生したりすることがあります。ドアの開閉は20秒以内で、1日5回以下にしてください。
6.貯蔵庫には、肥料など金属を腐食させるものを入れないでください。	6.アルミ製のフィンが腐食したり、鋼板が錆びることがあります。
7.ドア側にものが倒れてこないように積んでください。ドアは最後までしっかり閉めてください。	7.ドアが少し開いた状態になり、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまることがあります。

3.掃除

注意事項	注意事項が守れなかった場合の不具合
1.冷蔵ユニットの熱交換器（凝縮器）は定期的に掃除をしてきれいにしてください。	1.ホコリが付着して熱交換が不十分だと、電気代が増えます。また冷蔵ユニットの寿命が短くなります。

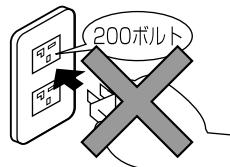
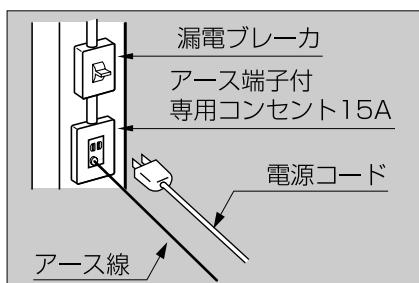
4.2.使用方法

⚠ 警告

漏電ブレーカを取付けてください。

⚠ 注意

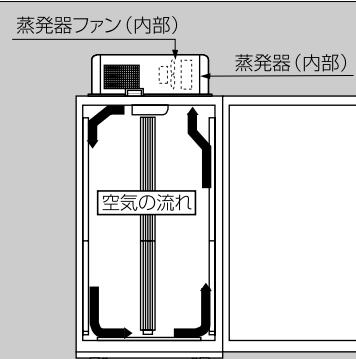
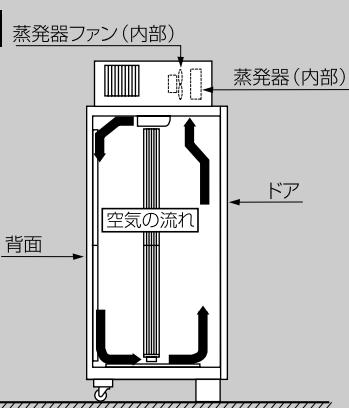
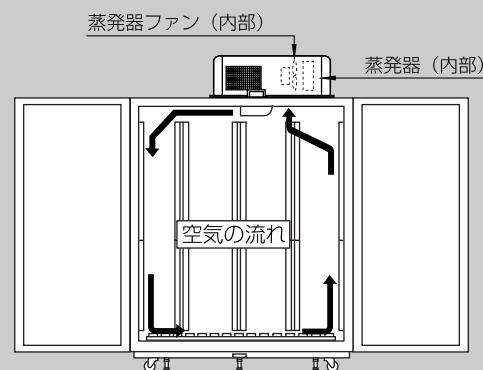
この機械は交流100V専用です。

⚠ 警告 交流200Vは絶対に使用しないでください。

4.2.1.電源の接続について

電源コンセントにプラグを差し込むと、電源ランプが点灯して、冷蔵運転を開始します。（冷蔵運転の開始は、庫内温度が設定温度より高い場合）
電源プラグを抜いて運転を停止したときは、**5分間以上停止**したままにしてください。
運転･停止をひんぱんに行うと、冷蔵ユニットの故障につながります。
冷蔵ユニットを**5分間以上**傾けて移動した場合、平らな所に置いて**10分間以上**経過してから電源コンセントにプラグを差し込んでください。冷蔵ユニットを傾けてから**10分間以内**に電源コンセントを差し込むと、冷蔵ユニットの故障につながります。

重 要

1.15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。
2.安全のため漏電ブレーカ(15mAまたは30mA)を取付けてください。
3.コードリールは使用しないでください。
4.たこ足配線は、絶対しないでください。
5.電源コードは踏みつけないでください。

4.2.2.庫内冷却について

庫内には冷却空気を循環させせるために蒸発器ファンが付いています。この蒸発器ファンは庫内の貯蔵物を均一に冷却させるためのもので、急冷用ではありません。庫内壁面には冷気が流れるためのすき間を開けてください。

4.2.3.庫内温度の設定について

この機械の設定温度範囲は9℃～15℃です。（出荷時は12℃に設定されています。）
庫内温度は設定温度に対して**上下2℃の範囲で制御**します。
ドア内側にある温度計の表示も通常この範囲を表示します。ただし、運転開始後、数日程度は、庫内温度が安定しないため、この範囲を越すことがあります。

庫内温度	庫内湿度	用　途	ファンの動き
9℃～15℃	55%～75%	玄米専用	圧縮機と連動

（庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度、外気温度・湿度により変化します。）

重 要

設定温度の変更を頻繁に行わないでください。一度設定温度を変更したら3分間以上は設定温度の変更はしないでください。冷蔵ユニットが故障することがあります。

4.2.4.排水について

冷蔵ユニットの**排水は、ユニット内で蒸発**するようになってます。排水ホースは、多量の排水があった時、本体の天板に水が落ちないように取付けています。（ドアを閉め忘れた時や、ドアを何回も開閉した時には、排水ホースから水が出ることがあります。）

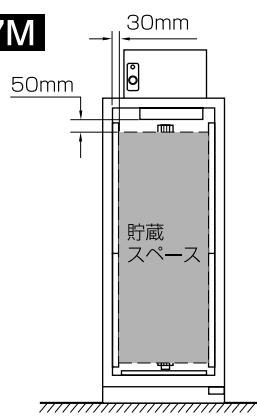
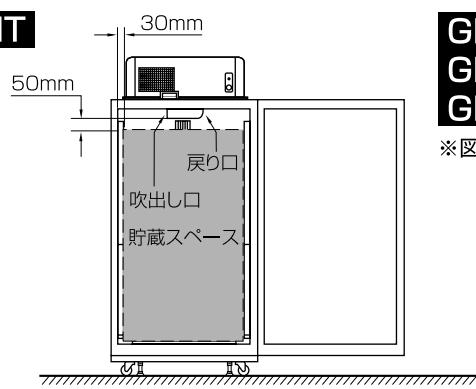
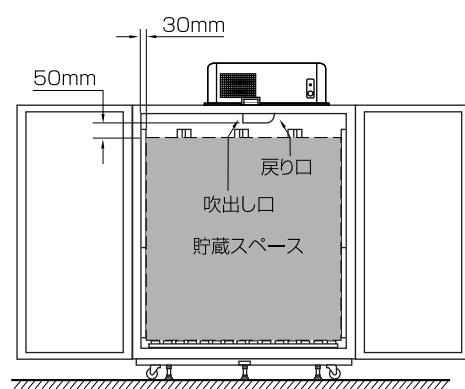
重 要

排水が出ることがありますので次のことをお守りください。
●ドアは確実に閉めてください。
●ドアを頻繁に開閉しないでください。
●長時間ドアを開ける時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

4.2.5.貯蔵品の入れ方について

重 要

❶ 貯蔵品を庫内に入れるとき、**壁面から30mm以上開けて**、冷気が庫内をまんべんなく循環するようにしてください。
❷ 庫内上部には**冷気の吹出し口、戻り口**があります。この部分が**ふさがれると冷却できませんので、50mm以上のすき間**を取ってください。
❸ 温度が高いものは、外気温度と同じになるまで待ってから入れてください。

GR7M

GR14MT

GR21MT
GR28MT
GR32M

※図はGR21MT

4.2.6.玄米の貯蔵について

GR7Mは30Kgの紙袋で7袋、GR14MTは14袋、GR21MTは21袋、GR28MTは28袋、GR32Mは32袋の貯蔵ができます。

❶ 図のようにGR7Mは1列･7段、GR14MTは2列･7段、GR21MTは3列･7段、GR28MTは4列･7段、GR32Mは4列･8段に積んでください。
庫内壁面(前後左右）に紙袋がふれないように30mm以上隙間をあけてください。

❷ 設定温度は**12℃**にしてください。（出荷時の温度設定は12℃になっています。また、温度調節範囲は9℃～15℃です。）
15℃以下になっていれば虫の発生はありませんし、古米化も防止できます。

❸ GR7Mは外気温30℃の温度で7袋を入れて運転すると、3時間程度で12℃まで下がります。袋の中心部が12℃になるには約5日間かかります。
※GR14MTは14袋で3時間程度で12℃まで下がり､袋の中心部が12℃になるには約5日間かかります。
※GR21MTは21袋で3時間程度で12℃まで下がり､袋の中心部が12℃になるには約5日間かかります。
※GR28MTは28袋で4時間程度で12℃まで下がり､袋の中心部が12℃になるには約6日間かかります。
※GR32Mは32袋で4時間程度で12℃まで下がり、袋の中心部が12℃になるには約7日間かかります。

❹ 玄米を貯蔵するときは､水分の多い品物（野菜･果物など）や香りを発生する品物との同時貯蔵はしないでください。**玄米だけで貯蔵**してください。

❺ **精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米**してください。夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。
玄米が冷えた状態で精米すると、うまく精米できないことがあります。

❻ 初夏から夏（6～9月）にかけて玄米を取り出す時は、早朝の温度が低いときに取り出すように心がけてください。

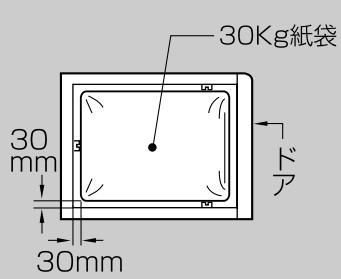
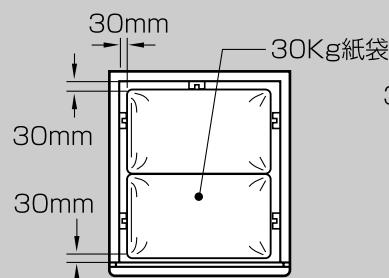
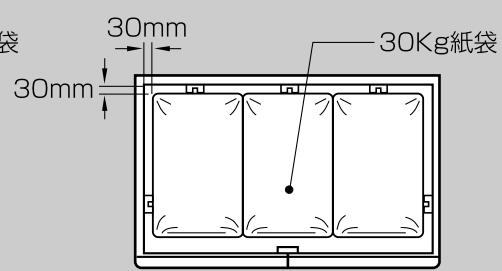
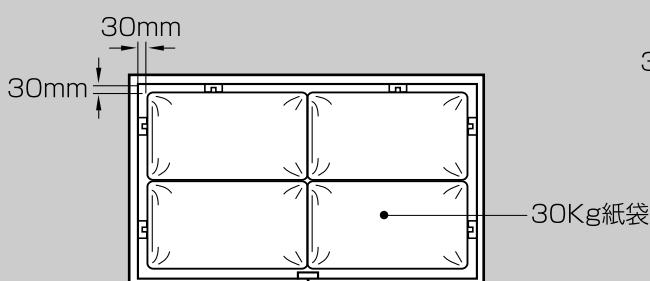
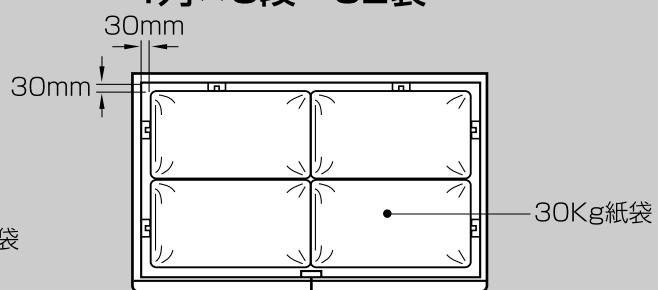
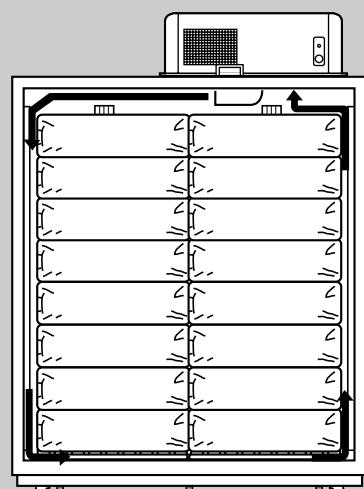
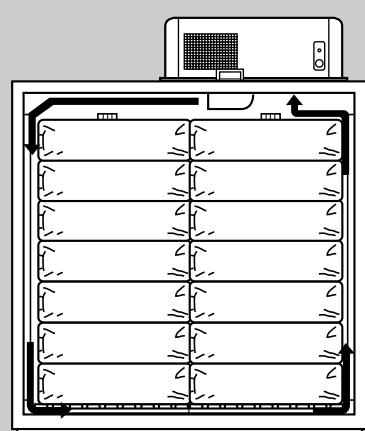
重 要

●貯蔵中の米袋に冷気が直接当らないようにしてください。
●必ず、冷気の循環路を確保してください。

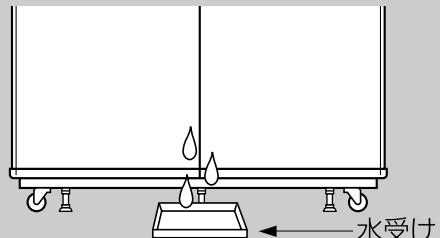
重 要

●冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き（結露）玄米の表面が白くひび割れを起すことがあります。紙袋の口は開けないでください。精米直前に開封してください。

米袋はドアを開けた時、崩れないように後の荷摺り柱にもたれさせるように積んでください。崩れると、カギを掛けた状態でもドアが少し開き、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまることがあります。

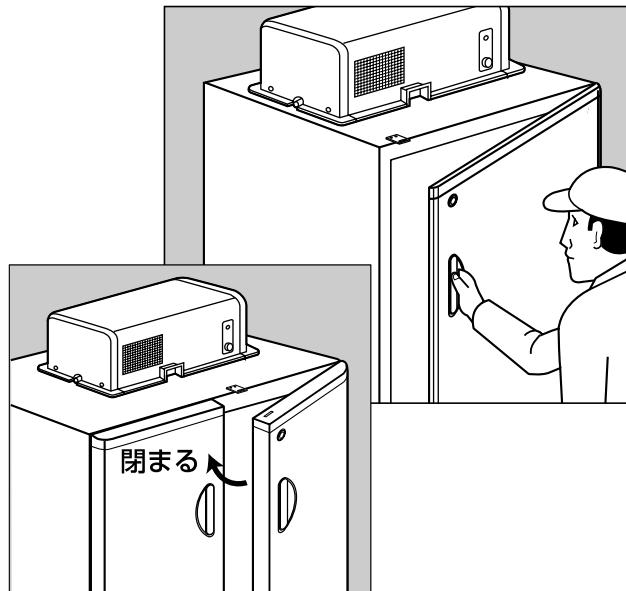
庫内の壁に袋がふれないように30mm以上のすき間を開ける

4.2.7.結露について

入梅から夏にかけてドアの合わせ部に露がつき、床に水が溜まる場合がありますが故障ではありません。水の量が多い場合は受皿(お客様でご用意願います。)で受けてください。（2ドアの貯蔵庫の場合）
また、著しく高温･高湿の時には、本体全体に結露が生ずることがありますが故障ではありません。やわらかい布で拭き取り、風通しをよくしてください。

GR21MT／GR28MT／GR32M
※図はGR21MT
水受け

4.2.8.ドアの密閉について

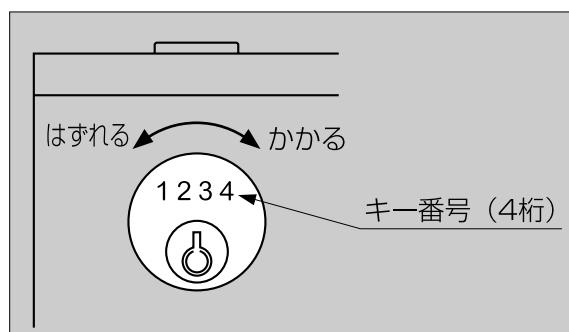
ドアは確実に閉めてください。
マグネットパッキンが本体に密着しているか確認してください。ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとするとドアが重くなります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

重 要

ドアがしっかり閉まっていないと庫内に露が付き、お米がカビることがあります。また、天パネルに水滴がたまることがあります。

⚠ 注 意

**1.ドアは取手を持って閉めてください。
ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
2.ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。
3.GR21MT、GR28MT、GR32Mでは、ドアが約25°開いた状態から自動的に閉じるようになっています。手や指などがはさまれないよう注意してください。
4.ドアは勢いよく閉めないでください。**

4.2.9.カギについて

貯蔵品の出し入れが終わったら必ずカギをかけてください。
カギをかけるときは中に人がいないことを確認してください。
キーは2個ありますので別々に保管すると紛失したときに安心です。2個とも紛失して注文するときは、キーの番号を連絡してください。

5 点検と掃除と廃棄

この章では、機械の点検箇所と方法、掃除箇所と方法および廃棄について説明しています。

5.1.点検箇所と方法

5.1.1.庫内温度の点検

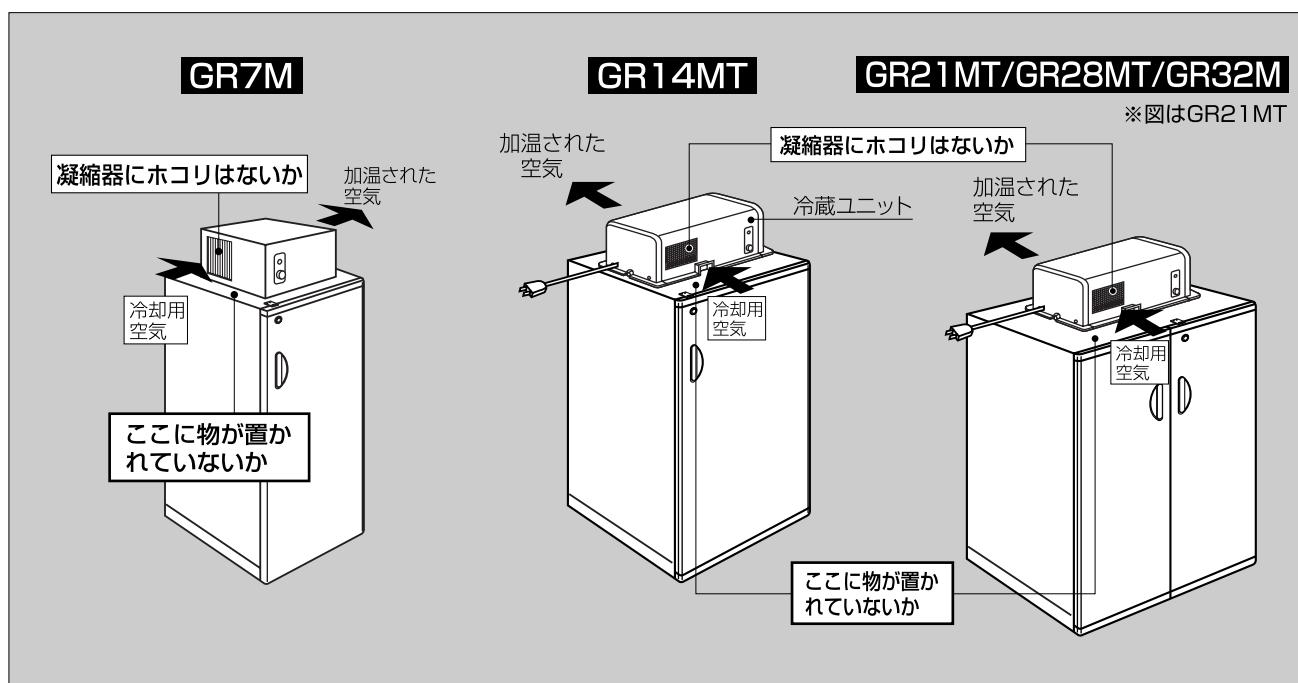
●ドア内側にある温度計で庫内温度の確認をしてください。

⚠ 警告

本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり物を置かないでください。ドアを開けた時に物が落下し、ケガをしたり機械が変形します。

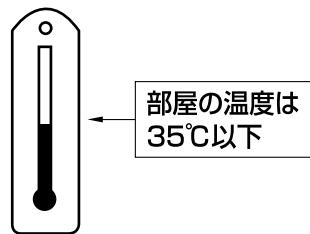
5.1.2.凝縮器の点検

●冷蔵ユニットの前面、後面には物を置かないでください。

●凝縮器のフィンにホコリがついていないか確認してください。冷却用空気が凝縮器のフィンの部分を通過しています。ここがふさがれますと、冷却能力が下がり、庫内が冷えなくなります。また冷蔵ユニットの寿命を短くしますので注意してください。

5.1.3.設置場所室温の点検

●**室内の温度が35℃以下**であることを確認してください。

注意

●室内の温度が35℃以上になると冷却能力がいちじるしく低下します。電気代のムダや、冷蔵ユニットの故障の原因となりますので**風通しをよくする工夫**をしてください。
●室内の温度が40℃以上になると、更に冷却能力が低下し冷蔵ユニットが**常に運転している**状態になる可能性があります。

5.1.4.長期間使用しないとき

●電源プラグを抜き、ドアを開いて、庫内を乾燥させてください。

⚠ 警告

冷蔵ユニットの内部に指や棒、針金等を入れないでください。冷気の吹出し口、戻り口に手を入れないでください。感電やケガをすることがあります。

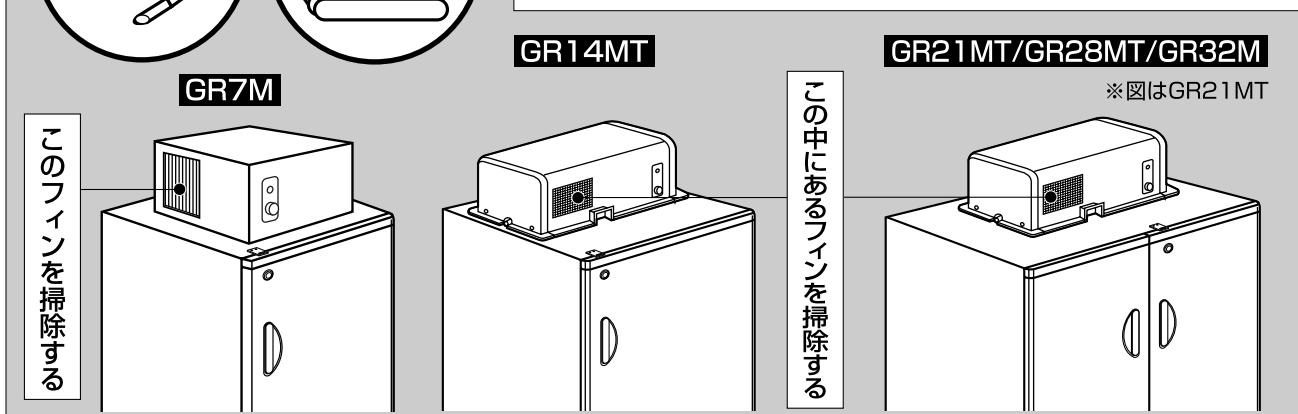
5.2.掃除箇所と方法

5.2.1.凝縮器フィンの掃除

❶ 電源プラグを抜いて運転を停止します。
❷ 掃除機と柔らかい毛のブラシを用意して、フィンに付着したホコリを取り除きます。

⚠ 警告

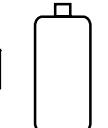
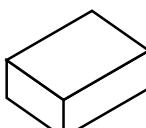
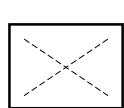
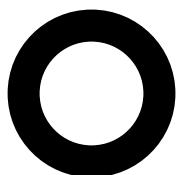
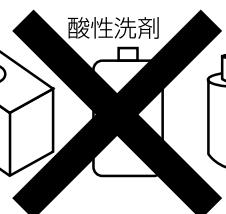
1.凝縮器のフィンに素手でさわらないでください。
2.水はかけないでください。

注意 1.ブラシはフィンに沿って上下に動かします。フィンを曲げないようやさしく扱ってください。
2.刃物や先の鋭いものを使わないでください。フィンや凝縮器が破損することがあります。

5.2.2.ドアや庫内の掃除

❶電源プラグを抜いて、運転を停止します。

❷洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。**水をかけて洗わないでください。**

❸カビが見られるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。アルコールの臭いがなくなるまでドアを開けておいてください。

警告

1.**消毒用エチルアルコール以外の溶剤**（例えばベンジンやシンナーなど）や**酸性やアルカリ性の洗剤**（風呂用洗剤など）**は絶対に使わないでください。**

2.**冷蔵ユニットには直接水をかけないでください。**漏電や故障の原因になります。

5.3.貯蔵庫の廃棄について

●長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、必ずドアと冷蔵ユニットをはずし、本体と別にしてください。

●廃棄は一般廃棄物として処理してください。
（不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。）

●地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。
詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。

⚠ 警 告

1.ドアをはずしていないと、子供が閉じ込められて事故の原因になります。
2.子供が遊ぶ場所に放置しないでください。

冷蔵ユニットには、冷媒としてフロンを充てんしています。

⚠ 注 意

●地球環境保護のため、次の事が法律で決められていますので必ず守ってください。
1.この製品に封入されている冷媒をみだりに大気中に放出しないでください。
2.この製品の廃棄時は、封入されている冷媒を回収してください。

冷媒の回収は第1種フロン類回収業者に依頼されるか、ご購入先に相談してください。
※フロンの回収には費用が掛かりますので、ご負担をお願い致します。

●この製品に使用しているフロン等は次の通りです。

機　　種	GR7M	GR14MT	GR21MT/GR28MT/GR32M
冷媒の種類と量	HFC-134a，75g	HFC-134a，75g	HFC-134a，100g
冷凍機油の種類と量	フレオールα22（I），195mℓ	HAB32M 90mℓ	HAB32M 150mℓ

6 組立要領

この章では、機械の組立について説明しています。

6.1.組立の前に

重 要

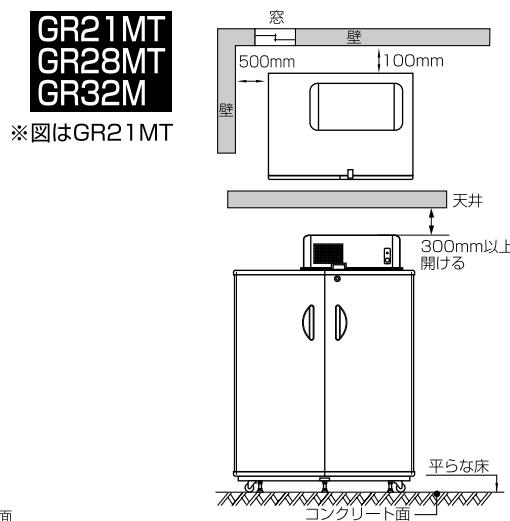
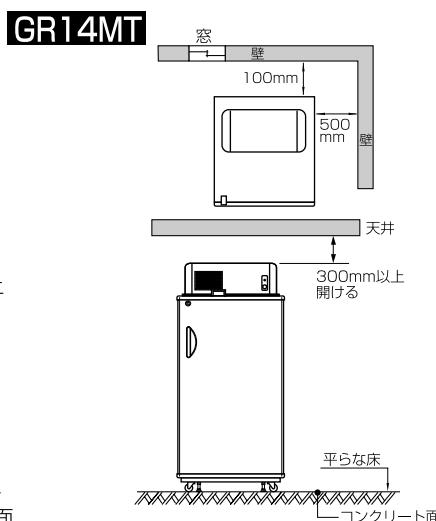
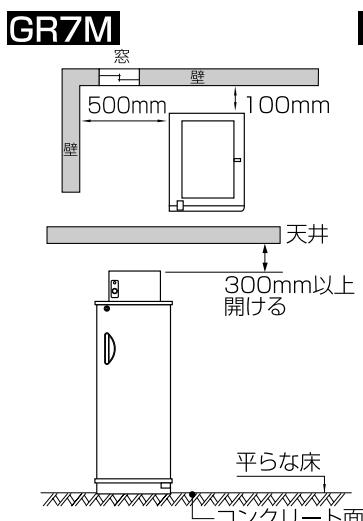
- **作業に適した服装と靴で作業してください。**
- **体調が良くない、フラフラするなど健康に異常がある時は作業しないでください。思わぬ作業ミスやケガの恐れがあります。**
- **連携作業は、足元を確認した上で声を掛け合って行ってください。**
- **本体上部での作業(冷蔵ユニットの取付)はしっかりした足場を用意し、足元を十分に確認してから行ってください。**
- **必要な工具を準備してください。**
- **必要な部品が揃っていることを確認してください。**

6.2.組立の手順

6.2.1.設置スペース

設置スペースを確保してください。

重 要

1. 本体の周囲には、左右500mm、後面100mm、上面300mm以上のスペースを取ってください。
2. 設置場所は平らな所で、しっかりしている床面（コンクリート床）に設置してください。
   床面がしっかりしていないと、貯蔵物の重量により本体の水平がくずれます。
   本体の水平がくずれると、庫内に水滴が落ちてくることがあります。
3. 直射日光が本体に当たらないようにしてください。
   （電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。）
4. 換気ができる所に設置してください。
   （電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。）

6.2.2.組立・設置に必要な工具類

必要な工具類を準備してください。

機種		GR7M	GR14MT	GR21MT	GR28MT	GR32M
ボックスレンチ	10mm	○	○			
スパナ	10mm	○	○			
	24mm	−	○			
⊕ドライバ	大	○	○			
脚立		○	○			
ヘルメット・安全靴・手袋		○	○			

6.2.3.梱包部品の確認

部品が揃っていることを確認してください。

❶梱包を解きます。❷本体の中に、冷蔵ユニットと部品が入っています。**確認をしてください。**

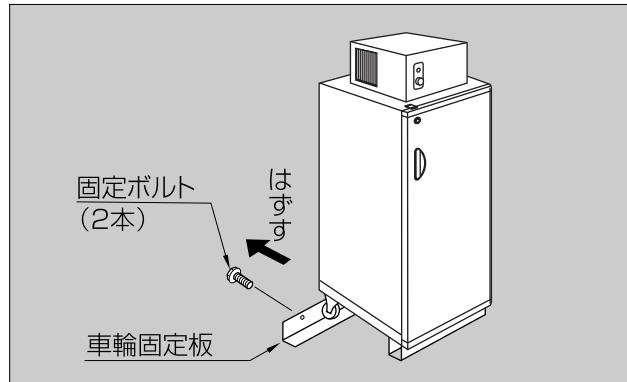
機種		GR7M	GR14MT	GR21MT	GR28MT	GR32M
冷蔵ユニット		組付出荷	1式			
すのこ		1枚				
棚		—	1			—
部品	アース線(ユニット付)	1				
	排水ホース	1(110㎜)	1(160㎜)	1(500㎜)		
	ホースサドル	—	—	2		
	M4タッピンネジ(バインド)	—	—	4		
	ADJ断熱シート	−	2			
	M6平座金付六角ボルト	−	4	5		
	ADJプラグ	−	2			
	後付けアジャストボルト	−	−	1		
	キー	2				
	棚受	—	4			—
取扱説明書		1				
お客様用説明書		1				

6.2.4.貯蔵庫の設置

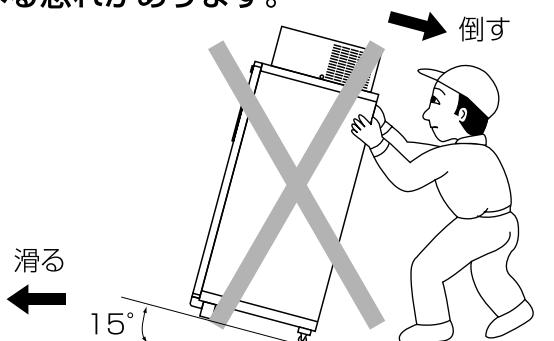
GR7Mの場合

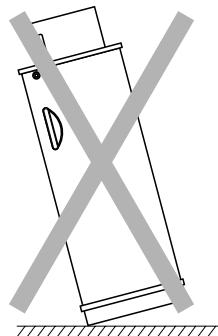
❶本体後側下の車輪固定板をはずします。
1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで左右の固定ボルト2ヵ所をはずします。
2.車輪固定板をはずします。

❷ダンボールと保護シートをはずします。

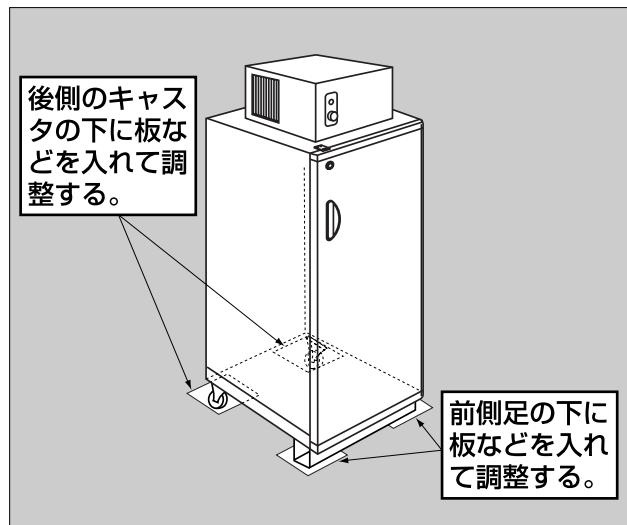
❸設置場所に固定します。
土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。

※本体質量(空のとき)/GR7M:74kg

⚠ 注 意

●荷降ろし・運搬時の転倒角度は約15°です。一人作業はしないでください。
●車輪側を支点にして傾けると本体がすべる恐れがあります。

●貯蔵庫を設置場所に移動させるとき本体を5分間以上傾けて運ばないでください。
●貯蔵庫を傾けてから10分間以内に電源コンセントをプラグに差し込まないでください。冷蔵ユニットが故障する恐れがあります。

5分間以上

❹貯蔵庫の水平を調整します。
貯蔵庫を設置する床面が凸凹していると貯蔵庫がガタつき、転倒する恐れがあります。
貯蔵庫の前側足の下または、後側のキャスタの下に板等を入れて貯蔵庫の水平を調整してください。

⚠ 警 告

貯蔵庫の水平がとれていないと、ドアが本体に密着できなくなり、スキマが生じます。(ドアのパッキン部に結露します。)

6.2.4.貯蔵庫の設置

GR14MTの場合

❶ **本体下の車輪固定板をはずします。**

1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで左右の固定ボルト4ヵ所をはずします。
2.本体を手で、右方向に押します。
3.車輪固定板がはずれます。
4.ダンボールと保護シートをはずします。

❷ **設置場所に固定します。** **前方調整**

土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。

●前側のアジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。

重 要

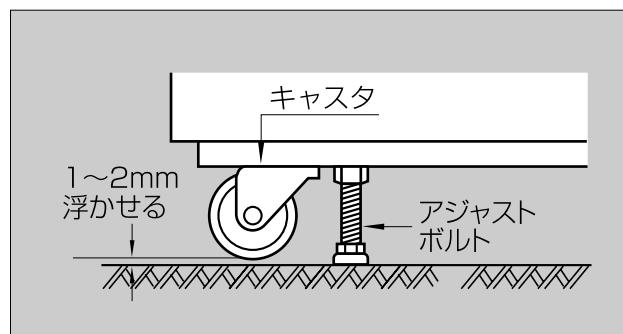
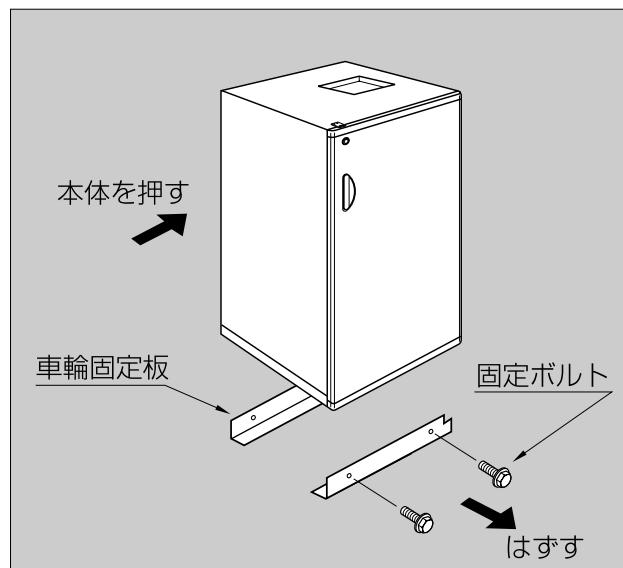
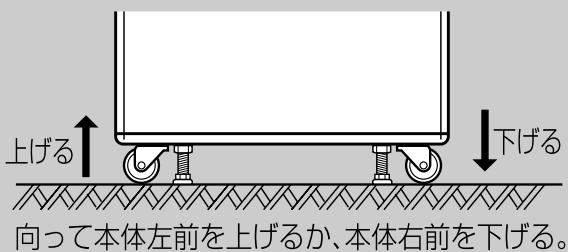
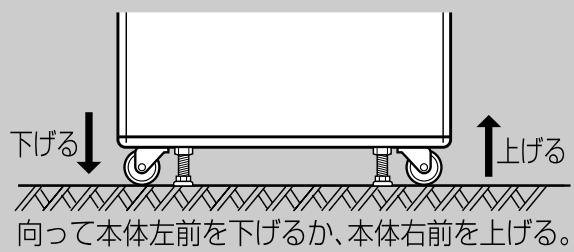
1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。
2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。

※本体質量（空のとき）／GR14MT：105kg

●ドア左側が本体より高いとき

向って本体左前を上げるか、本体右前を下げる。

●ドア左側が本体より低いとき

向って本体左前を下げるか、本体右前を上げる。

6.2.4.貯蔵庫の設置

GR21MT～GR32Mの場合

❶ 本体下の車輪固定板をはずします。

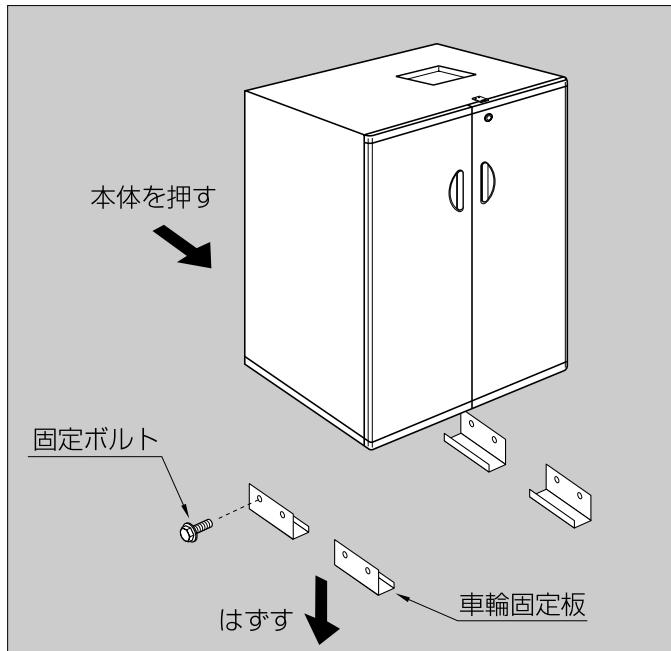
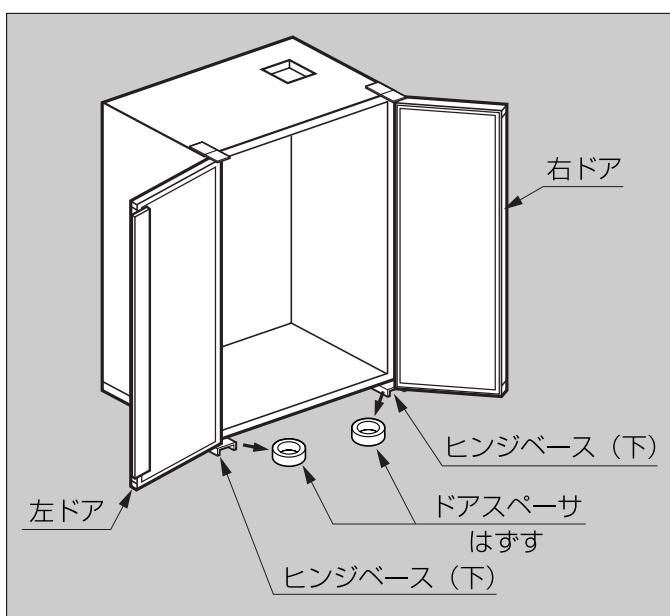
1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで左右の固定ボルト8ヵ所をはずします。
2.本体を手で、前方向に押します。
3.車輪固定板がはずれます。
4.ダンボールと保護シートをはずします。

❷ 設置場所に固定します。

土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。

❸ ドアスペーサをはずします。

1.右ドアを開けます。
2.ヒンジベース（下）に乗っているドアスペーサをはずします。
3.左ドアを開けます。
4.ヒンジベース（下）に乗っているドアスペーサもはずします。

注意

●ドアスペーサは、輸送時にヒンジ軸（下）ブッシュを保護するためのもので、設置後には不要となります。【材質：POM（ポリアセタール）】
●ドアスペーサを付けたままにしておきますと、ドアが自動的に閉まらない場合があります。

6.2.5.冷蔵ユニット、排水ホースの組付け

❶ 本体上部に冷蔵ユニットを乗せ、ボルトで固定します。(平座金付六角ボルトM6)

(GR14MT～GR32Mの場合)

⚠ 警 告

冷蔵ユニットを取り付ける前に、必ず本体をアジャストボルトで固定してあることを確認してください。
作業中、本体上部から冷蔵ユニットが落下したりケガをする恐れがあります。

重 要

- 冷蔵ユニットを運ぶ時は、必ず取手を持って運んでください。取手以外の所を持つと手を滑らせ冷蔵ユニットが落下し破損・変形します。
- 冷蔵ユニット底面の発泡スチロール、パッキンは取外さないでください。
- 冷蔵ユニットを乗せる連携作業は、足元を確認した上で、声を掛合って行ってください。

❷ 排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差込みます。
排水ホースの先が下向きになるように差し込んでください。

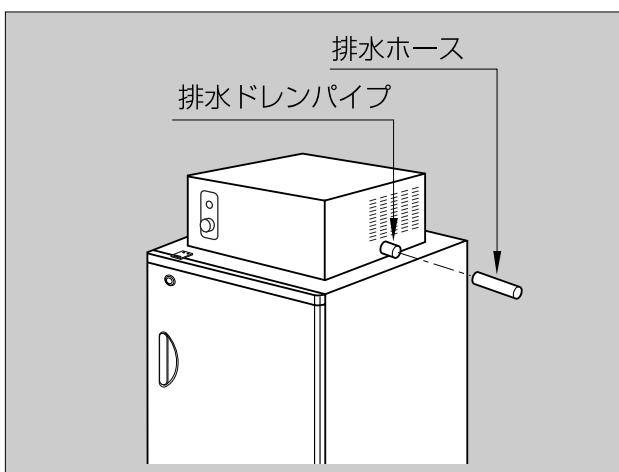
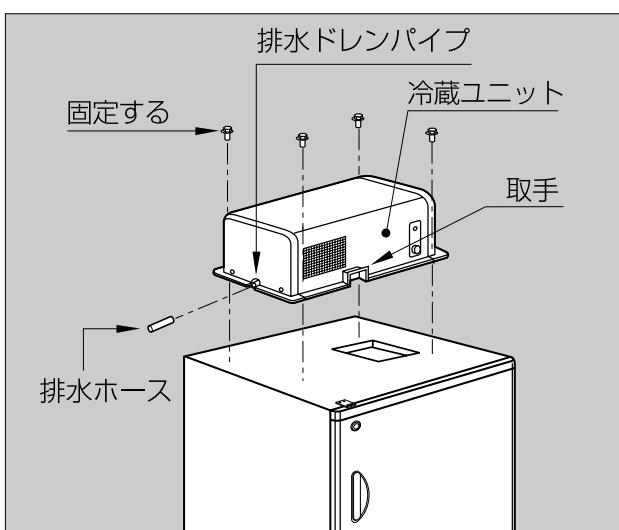
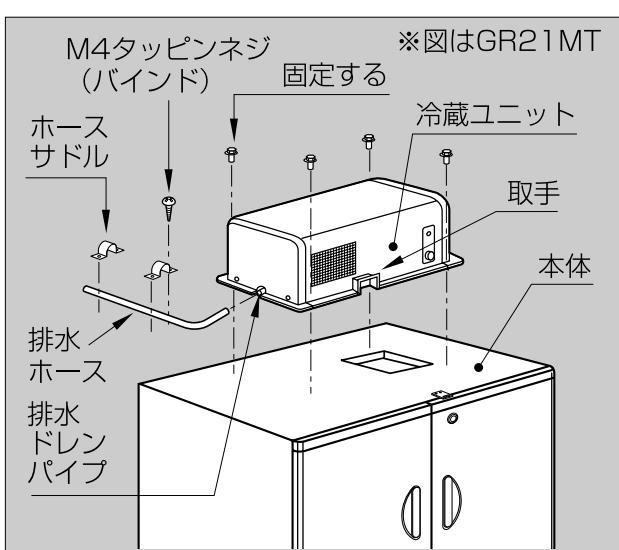
(GR7M/GR14MTの場合)

❸ 排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差込みます。
排水ホースをホースサドルで本体に固定します。(M4タッピンネジ)

(GR21MT～GR32Mの場合)

注 意

- 根元までしっかり差込んでください。
- 排水ホースを差し込むとき、排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。
- 排水ホースが浮き上がらないように、ホースサドルで固定してください。

GR7Mの場合

GR14MTの場合

GR21MT～GR32Mの場合

6.2.6.アジャストボルトの調整 GR21MT/GR28MT/GR32Mの場合

前方調整

❶ **設置場所に固定します。**
土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。

●前側のアジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。

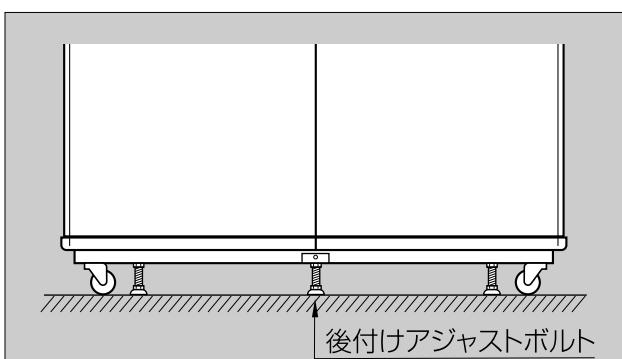
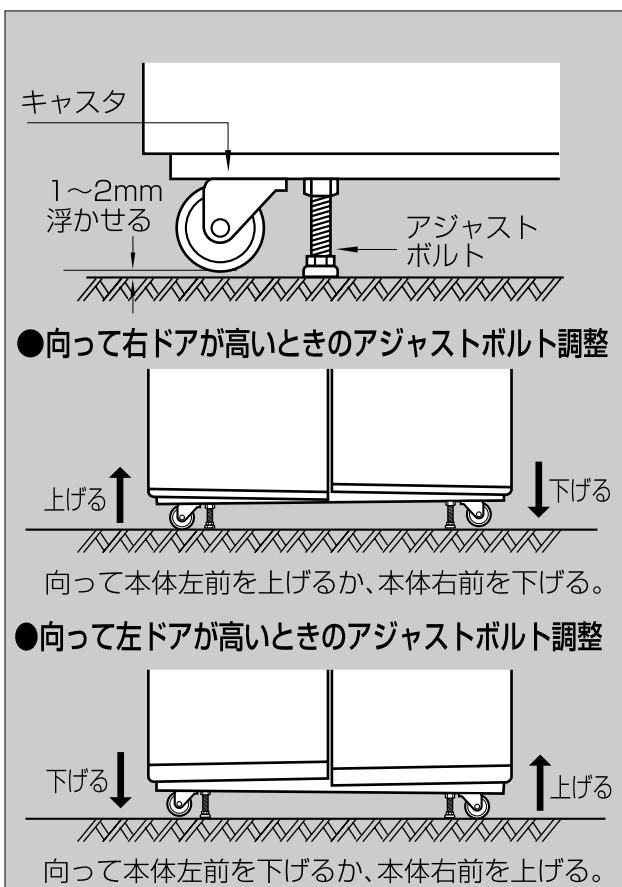
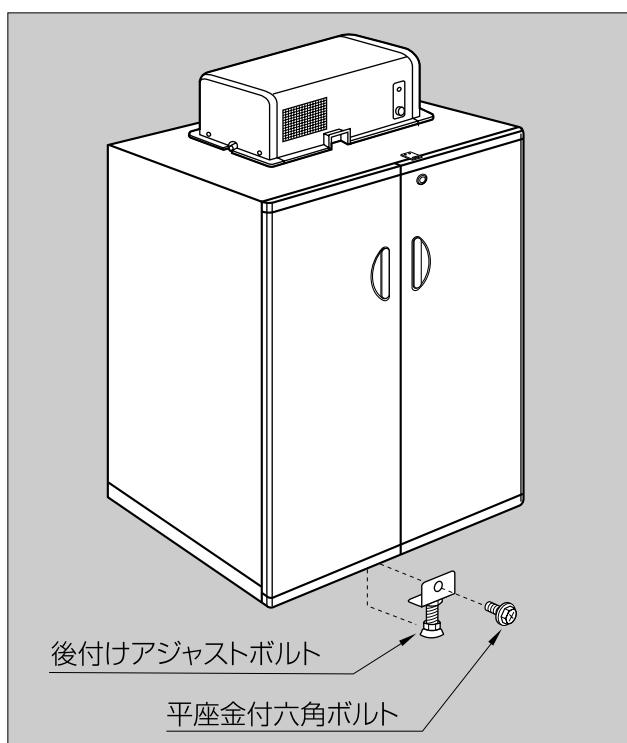
重 要

1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。
2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。

※本体質量（空のとき）／GR21MT：135kg
GR28MT：159kg
GR32M ：153kg

❷ **後付けアジャストボルトを取付けます。**
（平座金付六角ボルトM6）

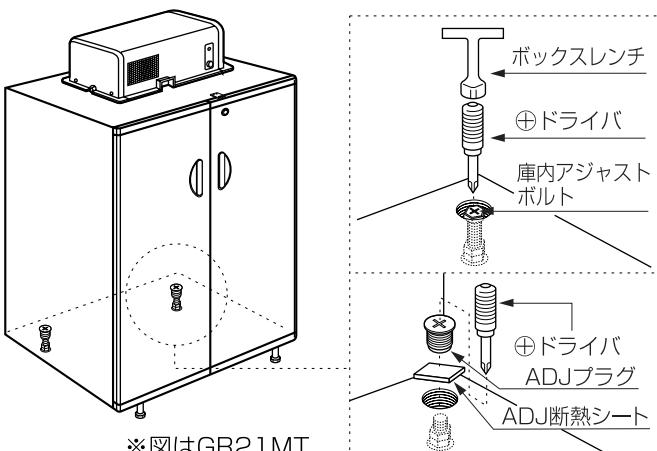
●後付けアジャストボルトを前側補強にある穴（楕円）に差し込みます。
●平座金付六角ボルトで固定します。
●アジャストボルトを地面に付くまで下げます。

⚠ 警 告

後付けアジャストボルトを組み付けないで米袋を入れると床が変形（たわむ）します。必ず組み付けてください。

GR14MT／GR21MT／GR28MT／GR32Mの場合

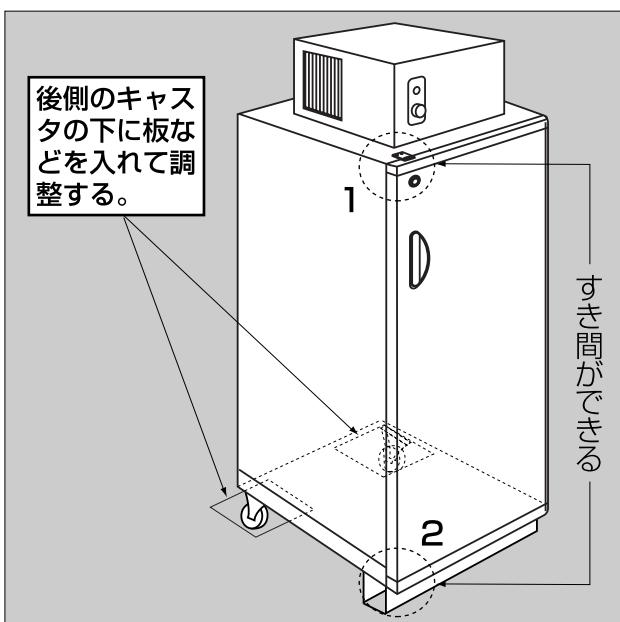
後方調整（庫内）

- 庫内アジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。
- 庫内アジャストボルトを⊕ドライバ(大)で下げます。
- 設置面に庫内アジャストボルトが着いたらボックスレンチ10mmで水平調整します。
- ADJ断熱シートを庫内アジャストボルトに当たるまで詰め込みます。
- ADJプラグを⊕ドライバ(大)でネジ込みます。(庫内床面と同一面になるまでネジ込む。)

※図はGR21MT

重要
- **ADJプラグを入れ忘れると庫内が結露します。**
- **ADJプラグ、ADJ断熱シートは、庫内アジャストボルトを地面まで下げてから、ネジ込んでください。**
- **ADJ断熱シートの真ん中を押しながら、ゆっくり詰め込んでください。**
- **ADJ断熱シートを入れないと、ADJプラグが結露することがあります。**

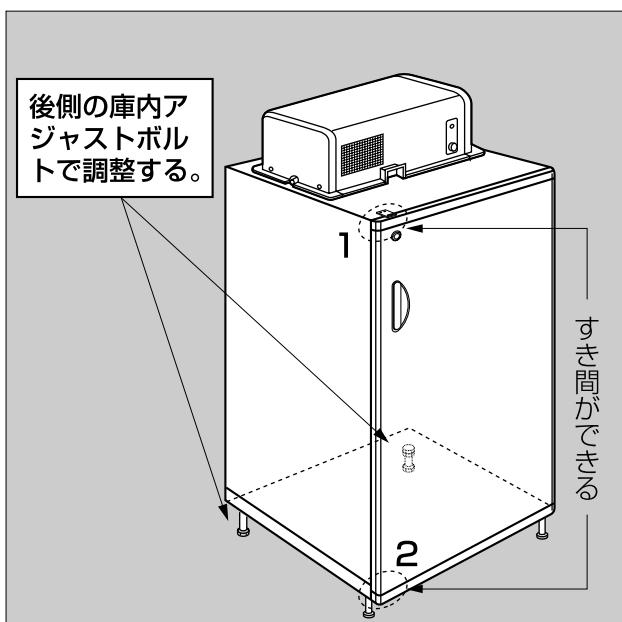
●ドアゴムと本体のすき間を調整します。

GR7Mの場合

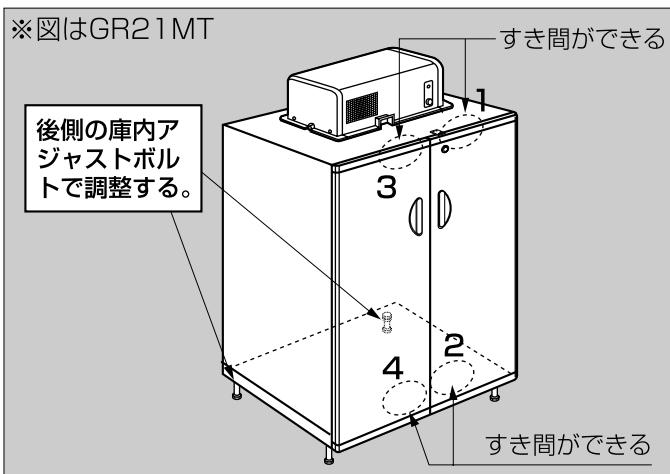
ドアゴム（マグネットパッキン）と本体の間にすき間が出るときは、本体に歪みがあります。後側のキャスタの下に板等を入れて本体の歪みを取ってください。

すき間の位置と調整

	すき間の位置	本体の調整方法
1	左側上部が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	左側下部が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる

GR14MTの場合

ドアゴム（マグネットパッキン）と本体の間にすき間が出るときは、本体に歪みがあります。後側のキャスタの下に板等を入れて本体の歪みを取ってください。

すき間の位置と調整

	すき間の位置	本体の調整方法
1	左側上部が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	左側下部が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる

GR21MT／GR28MT／GR32Mの場合

すき間の位置と調整（GR21MT～GR32M）

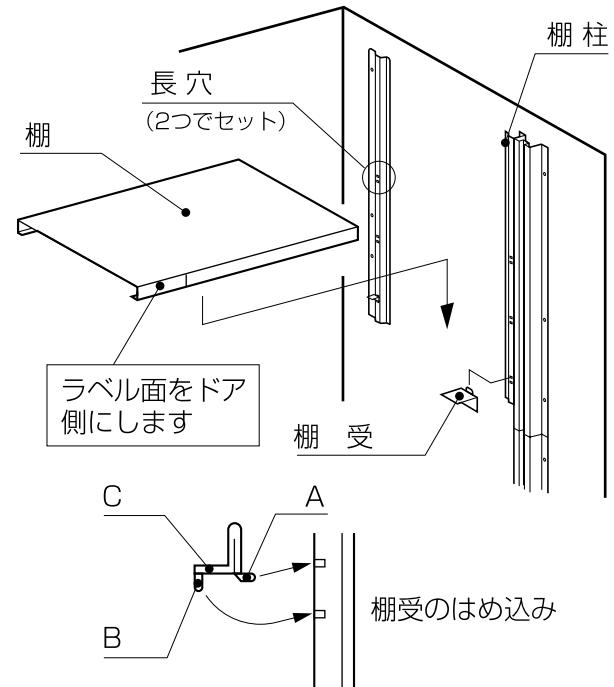
	すき間の位置	本体の調整方法
1	右ドア中央部の上側が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	右ドア中央部の下側が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる
3	左ドア中央部の上側が空くとき	左後側を下げる 右後側を上げる
4	左ドア中央部の下側が空くとき	左後側を上げる 右後側を下げる

6.2.7.棚の組付け

❶棚受を棚柱の小さい長穴に4個はめ込みます。

●棚受のはめ込み位置は、棚柱1本に対して3ヶ所あります。
　同じ高さの位置にはめ込んでください。
●棚受のA部分を棚柱の2つの長穴の内、上側にはめ込みます。
●棚受のB部分を下側の長穴にはめ込みます。
　入りにくい場合は、C部分をたたいて入れてください。

⚠警告
●棚受が長穴にはまっていないと棚が落下します。
●棚受を上下逆にはめ込むと棚が落下します。

棚柱
長穴
（2つでセット）
棚
ラベル面をドア側にします
棚受
C
A
B
棚受のはめ込み

❷棚を棚受の上に載せます。

●ラベル面をドア側にして載せてください。

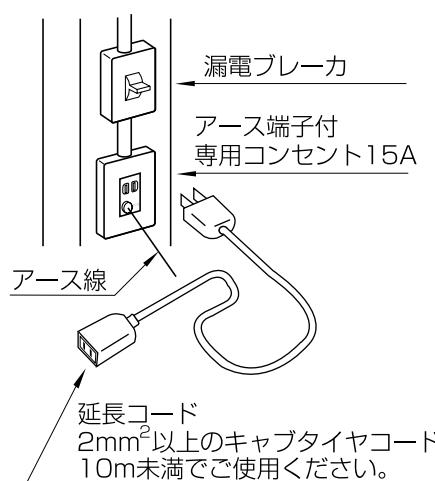
⚠警告　積載重量は全ての棚の合計で、100kgまでです。

6.2.8.棚の使用上の注意について

●棚に載せられる荷物の重さは、全ての棚の合計で100kgまでです。
　積載量の目安：缶ビール（350ml）ケース………10箱
●物を載せる際は、静かに載せてください。
　勢いよく載せると棚が破損したり、落下する恐れがあります。
●棚には、下からの力を加えないでください。
　この棚は取り外しが可能なので、棚が外れて落下する恐れがあります。
●棚の上には乗らないでください。落下する恐れがあります。
●ドアの開閉は、20秒以内で、1日5回以下にしてください。庫内に露が付き、お米がカビることがあります。

6.2.9.電源の確認

電源の確認をしてください。

重 要

1.**15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。**
2.他の機械の電源とのたこ足配線は絶対しないでください。
3.安全のため漏電ブレーカ(15mAまたは30mA)を取付けてください。
4.コードリールは使用しないでください。
5.延長コードを使用するときは、2mm²以上のキャブタイヤコードを使用してください。長さは、10m未満にしてください。
6.電源コードは踏みつけないでください。

6.3.組立後の確認

組立後の確認を行ってください。 チェックリスト内容が全てOKとなるようにしてください。

項　　目	確認チェック事項	チェック	対　　応
1.据　付	●本体は傾いていないか ●ドアにスキ間がないか		●26・29・30ページを参照 ●30・31ページを参照
2.組　立	●本体の回りにスペースはあるか ●直射日光はあたらないか ●換気はよいか（35℃以下） ●排水ホースはしっかり接続されているか ●排水ホースの浮き上がりはないか		●設置スペースを参照 ●日除けをしてください ●窓を開けてください ●28ページを参照 ●28ページを参照
3.ネジ部分の締付け	●ボルトは締付けたか ●仮止め箇所はないか		●締付ける ●締付ける
4.ラベル	●警告・注意などの警告表示ラベルの汚損はないか		●取替えてください
5.漏電ブレーカ	●付いているか		●付いていない場合は顧客先依頼事項とする
6.電源コード	●延長コードを使う場合は太さ2mm²以上あるか、長さ10m未満か		●太さ2mm²未満は取替えをし10m以上は電気工事店へ依頼する
7.電源を入れる	●電源ランプが点灯するか確認する ●冷蔵運転開始・庫内に冷却空気が出ていることを確認する（設定温度は外気温度以下）		●電源の確認をする ●運転操作は14・15ページを参照する

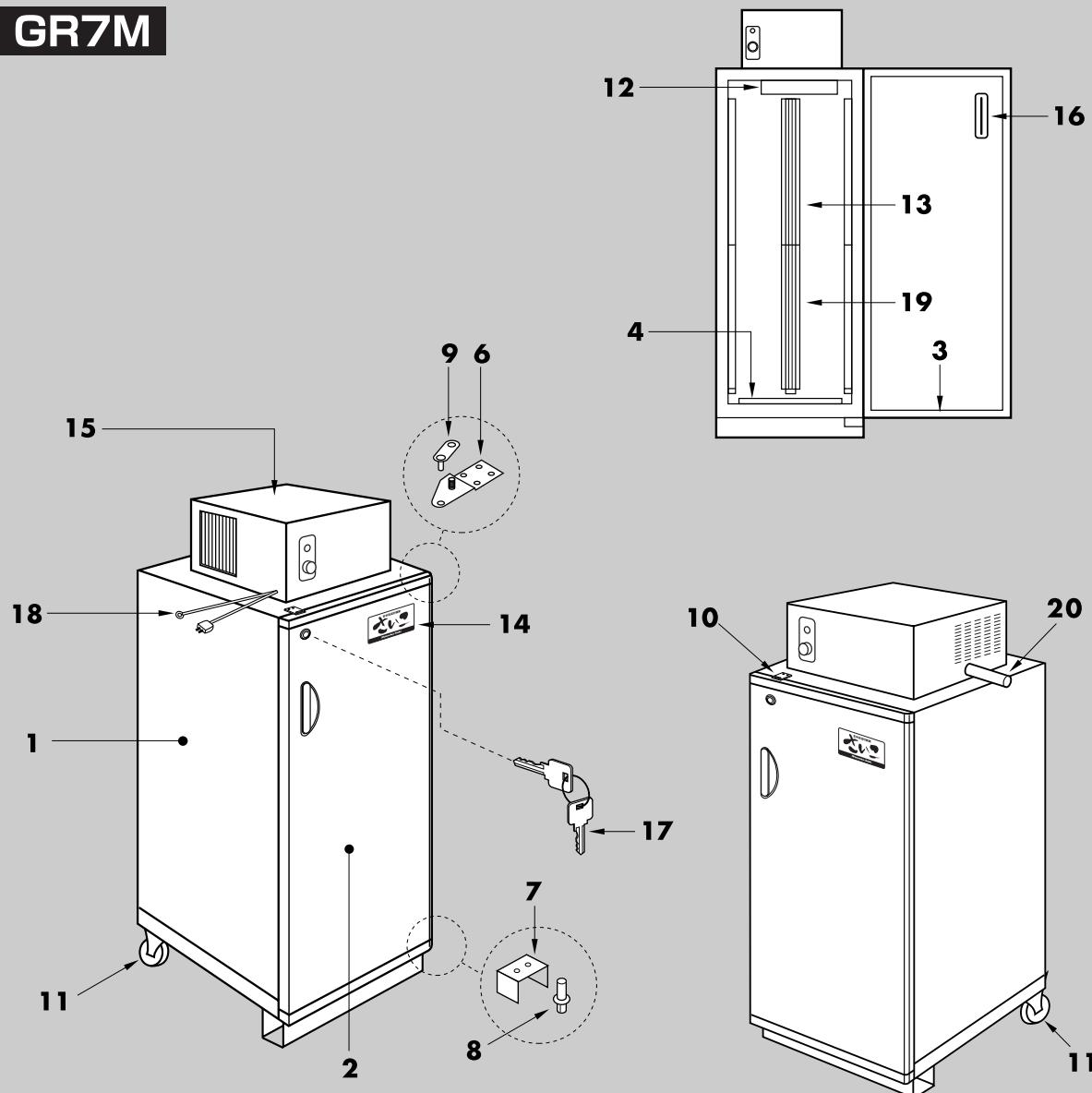
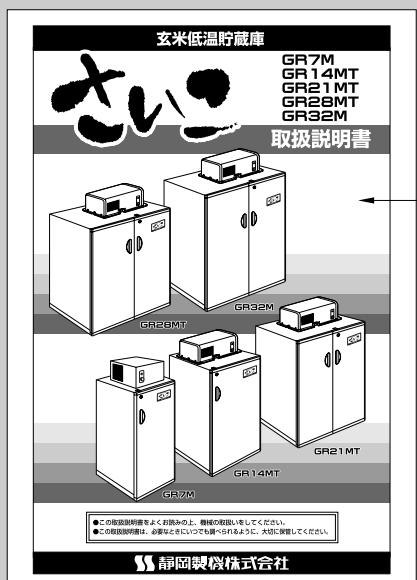
7 不調診断と処置

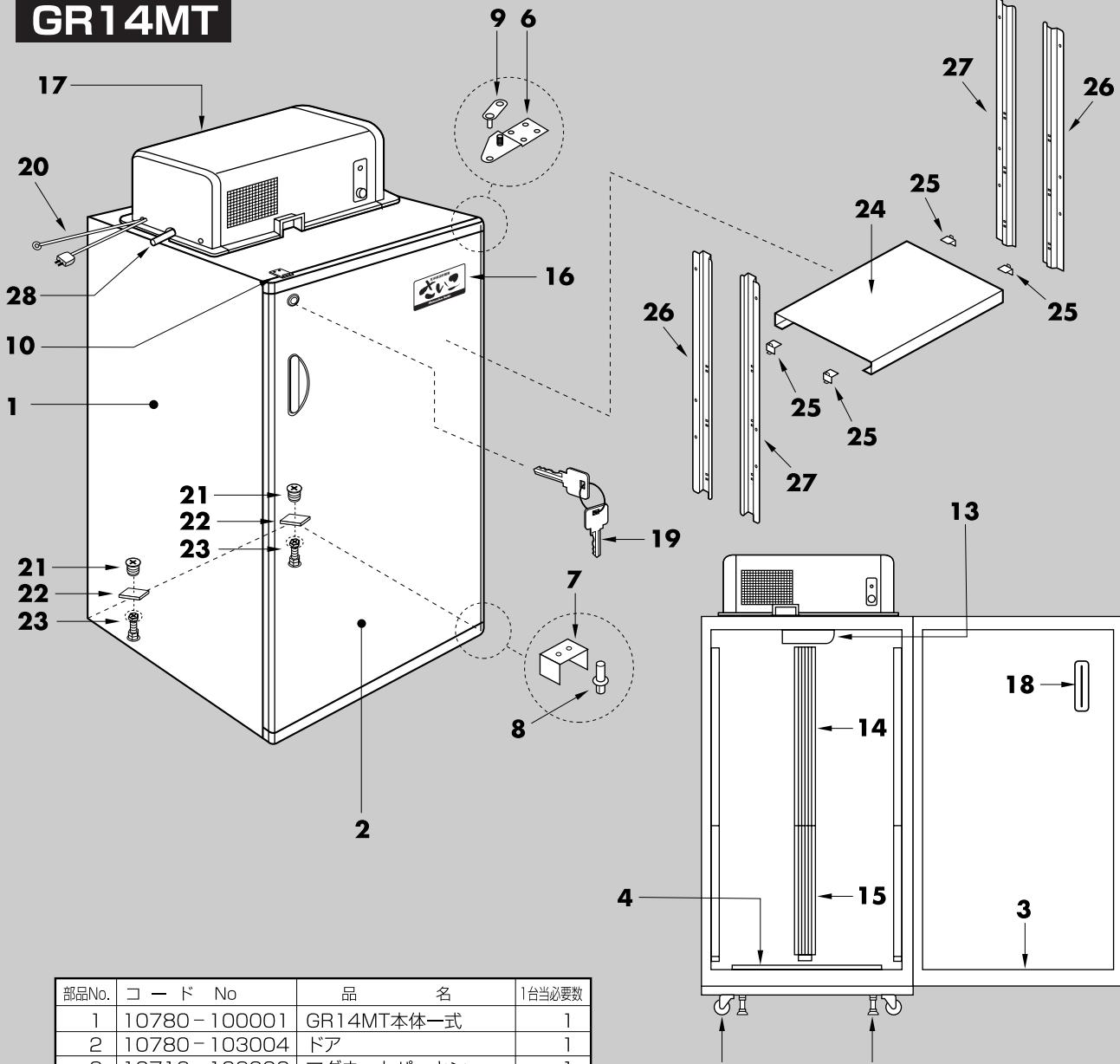
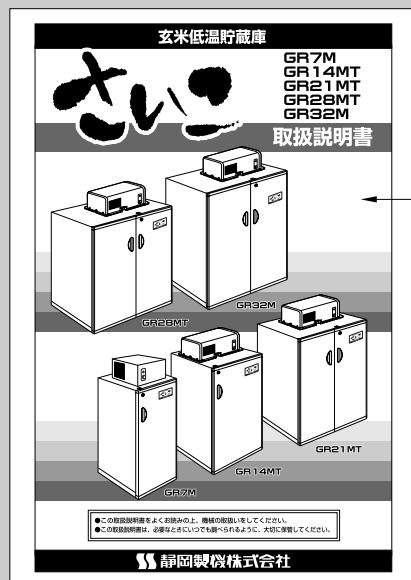
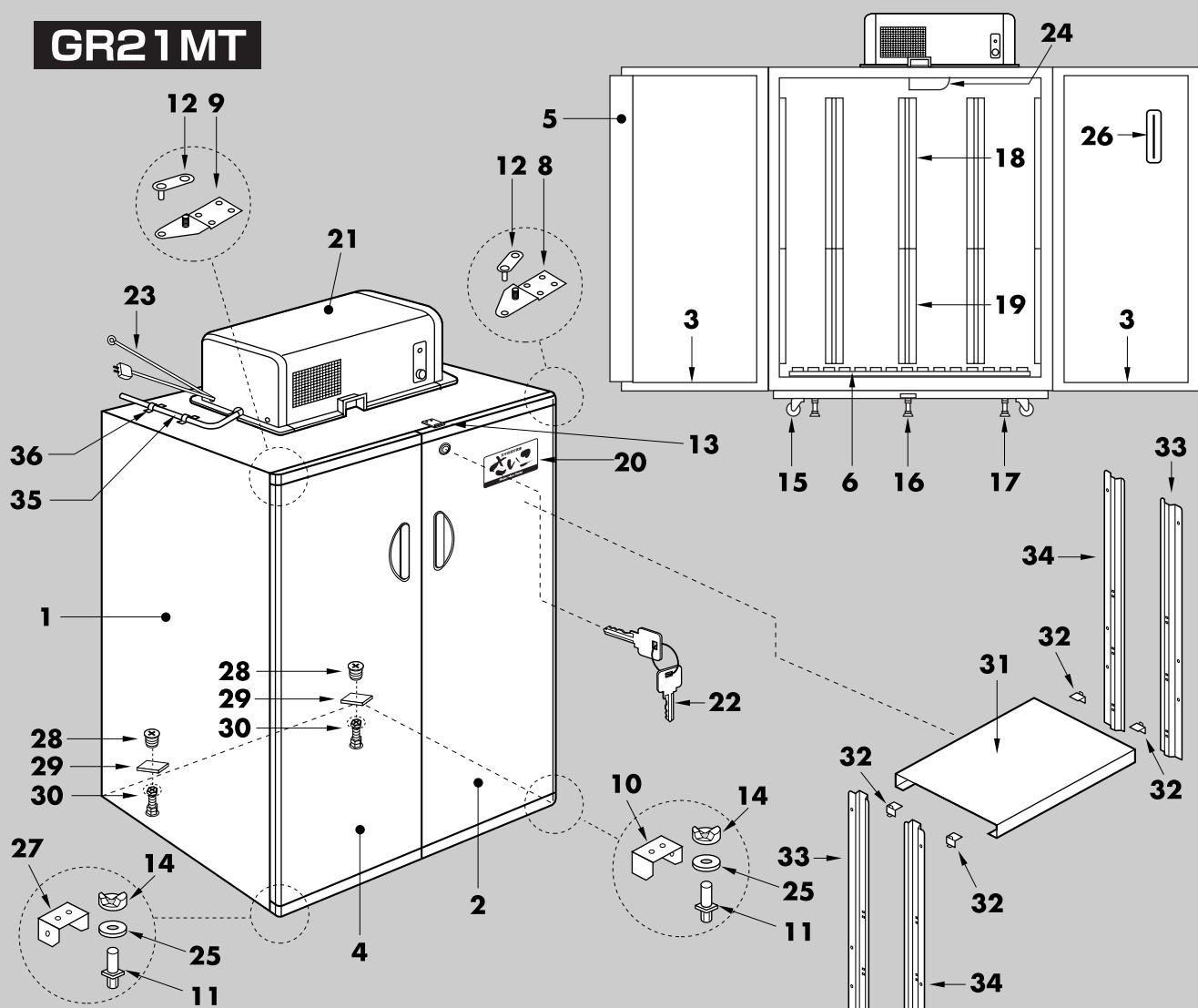
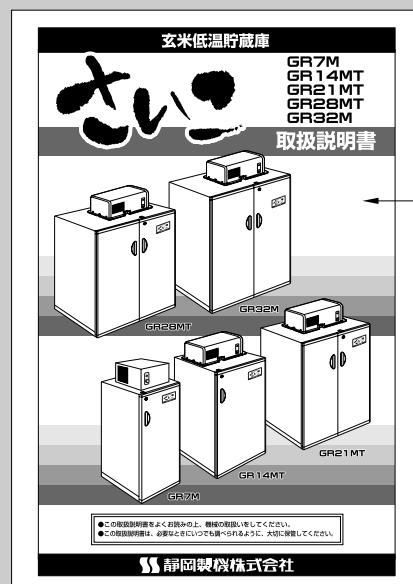
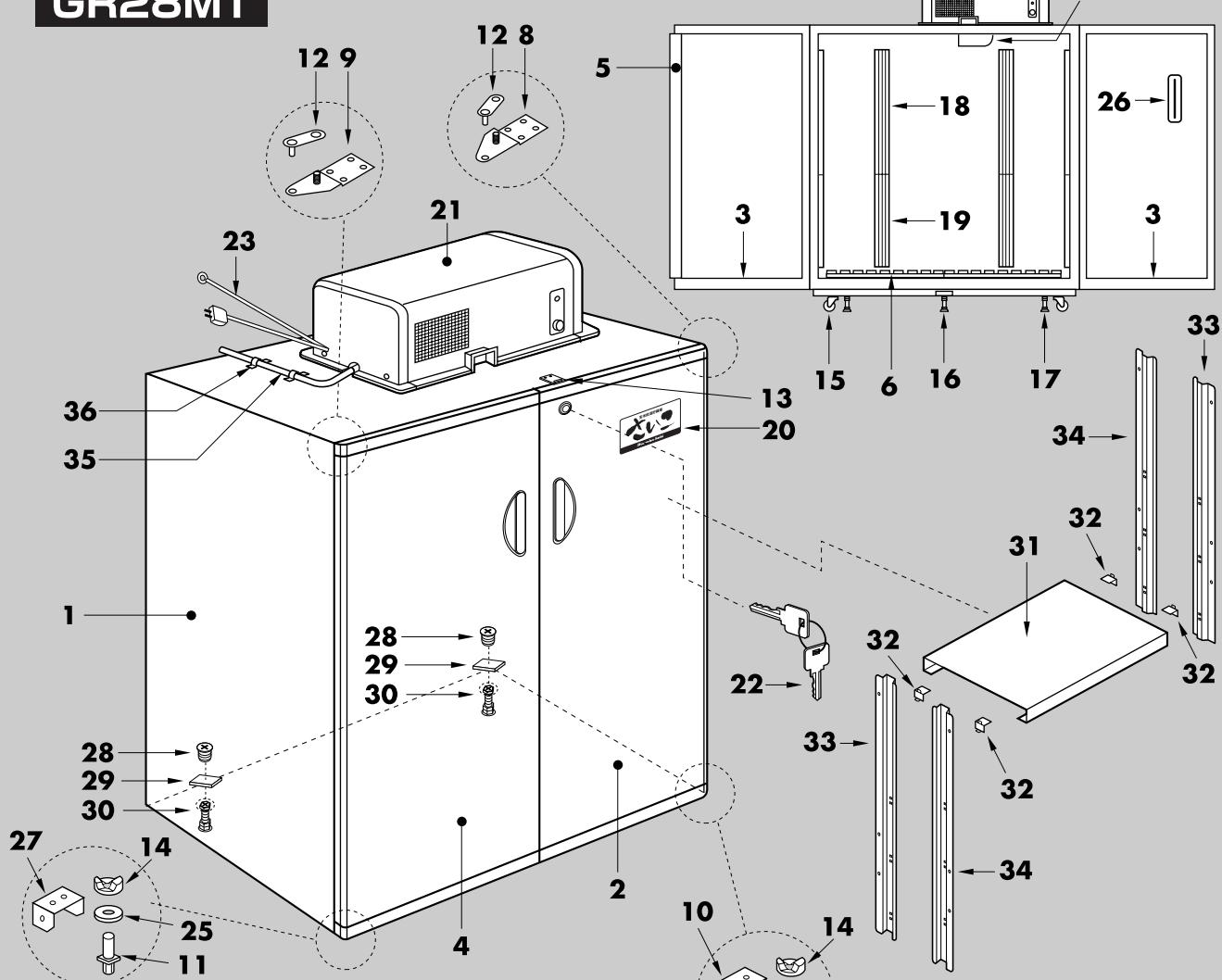
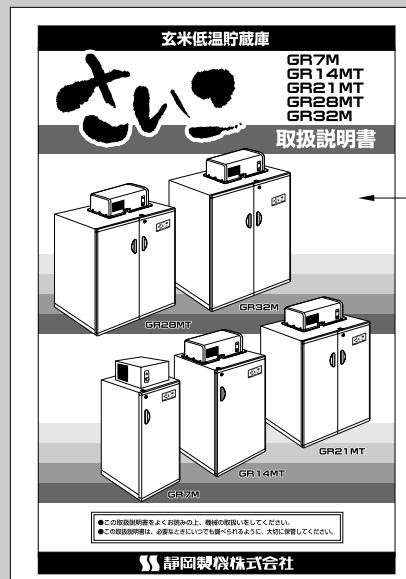
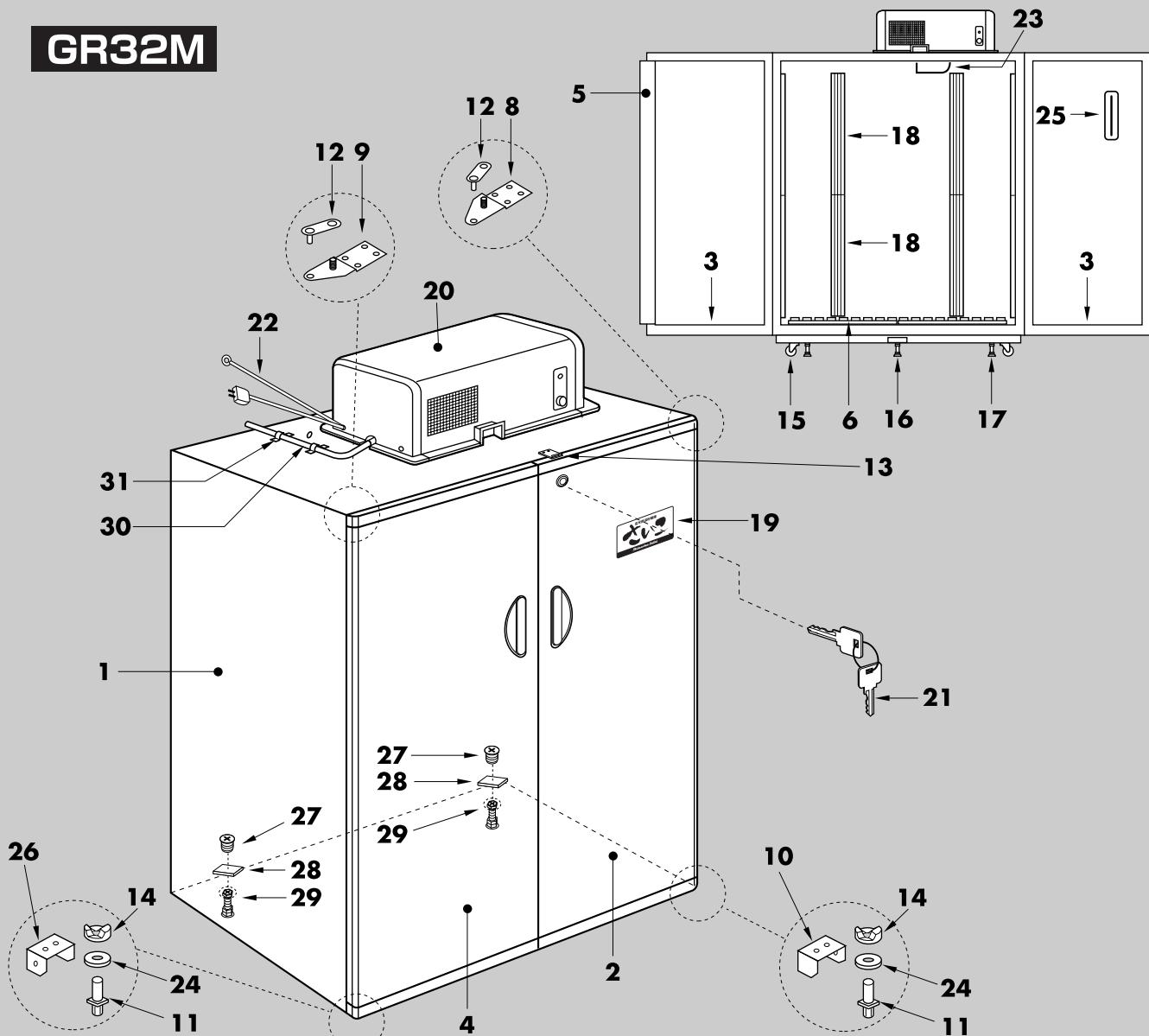
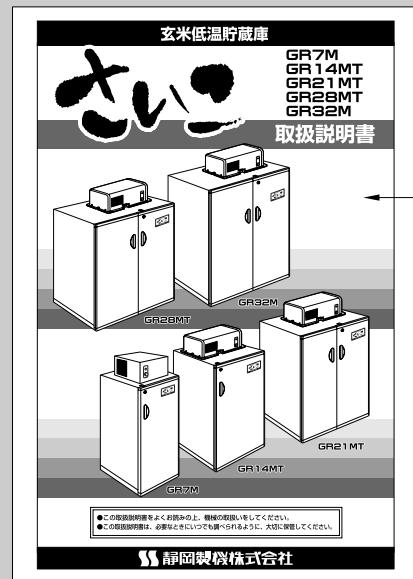
この章では、機械の不調の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

万一不調が起きたときは、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。
それでもなお調子が悪いときは、購入先、又は、弊社にご連絡ください。

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参　照
庫内がまったく冷えない	1.電源が入っていますか。	1.電源プラグを確認する。	P.14
設定温度まで冷えない	1.直射日光が当たっていませんか。	1.直射日光を防ぐ。	P.13
	2.風通しが悪く周囲の温度が高くなっていませんか。	2.風通しを良くするように工夫する。	P.13
	3.ドアを頻繁に開けていませんか。	3.ドアの開閉回数を減らす。	
	4.凝縮器のフィンにホコリがついていませんか。	4.ホコリの確認をし、ホコリがあれば掃除をする。	P.19 P.20
	5.上面に物が置かれて凝縮器の冷却空気が流れにくくなっていませんか。	5.物を取り除く。	P.19
	6.庫内に物を詰めすぎていませんか。	6.庫内の物を少なくする。	P.15 P.16
	7.設定温度は希望の温度に設定してありますか。	7.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。	P.12 P.15 P.16
	8.ドアにすき間がありませんか。	8.ドアのすき間をなくす。	P.30
	9.温度計が壊れていませんか。	9.温度計を交換してください。	P.12
設定温度以下を表示する	1.庫内に物を詰めすぎていませんか。	1.庫内の物を少なくする。	P.15 P.16
	2.庫内の冷気循環路は確保されていますか。	2.冷気循環路を確保する。	P.15 P.17
	3.運転開始直後ですか。	3.運転開始直後は、庫内温度が不安定のため設定温度以下を表示することがあります。庫内温度が安定するまでに数日間かかります。	P.12 P.15 P.16
	4.設定温度は希望の温度に設定してありますか。	4.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。	P.15
	5.温度計が壊れていませんか。	5.温度計を交換してください。	P.12

不調の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参照
設定温度と表示温度がズレている	1.ドアを開けたまま、しばらく時間が経ってから温度計を見ていませんか。 2.周囲温度の影響で表示温度が高くなることがあります。	1.貯蔵庫内の温度を確認する時は、ドアを開けて直ちに温度計を見て確認してください。	P.31
庫内に水滴が落ちてくる	1.本体が前後左右に傾いていませんか。 2.ドアが開いていませんか。	1.本体を水平にする。 2.ドアをしっかりと閉める。	P.13 P.26 P.29 P.18
庫内に露がつく	1.ドアが開いていませんか。	1.ドアをしっかりと閉める。	P.18
本体の外に露がつく	1.周囲の温度・湿度が高くありませんか。	1.貯蔵庫の設置してある室内の温度が35℃以上の場合や湿度の高い時は換気をよくするよう工夫する。	P.20
ドアが傾いている	1.床面が柔らかくありませんか。 2.床面が凸凹で本体がひずんでいませんか。	1.床の固い設置場所に変更してください。 2.アジャストボルトで調整してください。（GR14MT～GR32M） 後側キャスターの下に板等を入れて調整してください。（GR7M）	P.13 P.26 P.29 P.26 P.29 P.25
ドアが自動的に閉らない (GR21MT~32M)	1.ドアスペーサが付いていませんか。 2.ヒンジ軸（下）ブッシュが壊れていませんか。	1.ドアスペーサを外してください。 2.ヒンジ軸（下）ブッシュを交換してください。	P.27 P.37 P.38 P.39
排水がでる	1.ドアが開いていませんか。 2.ドアにすき間がありませんか。 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 4.玄米以外のものを入れていませんか。	1.ドアをしっかりと閉める。 2.ドアのすき間をなくす。 3.ドアの開閉回数を減らす。 4.この機械は玄米保冷専用です。 玄米以外のものを入れないでください。	P.15 P.30 P.31 P.15 P. 4 P.12

8 保守部品 この章では、主な保守部品について説明しています。

部品No.	コ ー ド No	品 名	1台当必要数
1	10782－100003	GR7M本体一式	1
2	10782－103006	ドア	1
3	10717－103004	マグネットパッキン	1
4	10782－104002	すのこ	1
5	10786－204001	取扱説明書	1
6	10786－200004	ヒンジベース（右・上）	1
7	10780－201005	ヒンジ（下）ベース	1
8	10762－201039	ヒンジ軸（下）	1
9	10718－200018	ヒンジ金具	1
10	10789－200006	鍵バー受	1
11	10786－201022	キャスター	2
12	10718－204003	風向板	1
13	10762－204003	荷摺り柱（大）	3
14	10782－200010	化粧シール	1
15	10782－106006	冷蔵ユニット(CR-05S6)	1
16	10781－204001	温度計	1
17	10786－203024	キ ー	2
18	10705－202013	アース線	1
19	10761－204001	荷摺り柱（小）	3
20	10782－204002	排水ホース	1

※オプション：菜庫棚 10782-005001

GR14MT

部品No.	コ ー ド No	品 名	1台当必要数
1	10780－100001	GR14MT本体一式	1
2	10780－103004	ドア	1
3	10716－103002	マグネットパッキン	1
4	10780－104002	すのこ	1
5	10786－204001	取扱説明書	1
6	10786－200004	ヒンジベース（右・上）	1
7	10780－201005	ヒンジ（下）ベース	1
8	10762－201039	ヒンジ軸（下）	1
9	10718－200018	ヒンジ金具	1
10	10789－200006	鍵バー受	1
11	10786－201026	アジャストボルト	2
12	10786－201022	キャスター	4
13	10718－204003	風向板	1
14	10762－204003	荷摺り柱（大）	5
15	10761－204001	荷摺り柱（小）	5
16	10782－200010	化粧シール	1
17	10780－106009	冷蔵ユニット(CR-07S6)	1
18	10781－204001	温度計	1
19	10780－203003	キ ー	2
20	10705－202013	アース線	1
21	10762－104002	ADJプラグ	2
22	10789－204005	ADJ断熱シート	2
23	10789－201011	庫内ADJボルト	2
24	10780－109011	棚	1
25	10785－209004	棚受	4
26	10785－209002	棚柱（右）	2
27	10785－209003	棚柱（左）	2
28	10780－204003	排水ホース	1

GR21MT

部品No.	コ ー ド　No	品　　　名	1台当必要数
1	10784－100001	GR21MT本体一式	1
2	10784－103003	右ドア	1
3	10717－103004	マグネットパッキン	2
4	10787－103002	左ドア	1
5	10785－103013	中仕切	1
6	10784－104001	すのこ	1
7	10786－204001	取扱説明書	1
8	10786－200004	ヒンジベース（右・上）	1
9	10786－200005	ヒンジベース（左・上）	1
10	10786－201039	ヒンジベース（右下）	1
11	10786－201020	ヒンジ軸（下）	2
12	10718－200018	ヒンジ金具	2
13	10789－200006	鍵バー受	1
14	10786－201037	ヒンジ軸（下）ブッシュ	2
15	10786－201022	キャスター	4
16	10786－104003	後付けアジャストボルト	1
17	10786－201026	アジャストボルト	2
18	10762－204003	荷摺り柱（大）	5
19	10761－204001	荷摺り柱（小）	5
20	10782－200010	化粧シール	1
21	10786－106005	冷蔵ユニット(CR-13L6)	1
22	10780－203003	キ　ー	2
23	10705－202013	アース線	1
24	10718－204003	風向板	1
25	10786－201032	ブッシュスペーサ	2
26	10781－204001	温度計	1
27	10786－201040	ヒンジベース（左下）	1
28	10762－104002	ADJプラグ	2
29	10789－204005	ADJ断熱シート	2
30	10789－201011	庫内ADJボルト	2
31	10784－109001	棚	1
32	10785－209004	棚受	4
33	10785－209002	棚柱（右）	2
34	10785－209003	棚柱（左）	2
35	10786－204005	排水ホース	1
36	10762－205002	ホースサドル	2

部品No.	コ　ー　ド　No	品　　　名	1台当必要数
1	10785－100001	GR28MT本体一式	1
2	10785－103014	右ドア	1
3	10785－103010	マグネットパッキン	2
4	10789－103004	左ドア	1
5	10785－103013	中仕切	1
6	10786－104002	すのこ	1
7	10786－204001	取扱説明書	1
8	10786－200004	ヒンジベース（右・上）	1
9	10786－200005	ヒンジベース（左・上）	1
10	10786－201039	ヒンジベース（右下）	1
11	10786－201020	ヒンジ軸（下）	2
12	10718－200018	ヒンジ金具	2
13	10789－200006	鍵バー受	1
14	10786－201037	ヒンジ軸（下）ブッシュ	2
15	10786－201022	キャスター	4
16	10786－104003	後付けアジャストボルト	1
17	10786－201026	アジャストボルト	2
18	10762－204003	荷摺り柱（大）	6
19	10761－204001	荷摺り柱（小）	6
20	10782－200010	化粧シール	1
21	10786－106005	冷蔵ユニット(CR-13L6)	1
22	10786－203024	キ　ー	2
23	10705－202013	アース線	1
24	10718－204003	風向板	1
25	10786－201032	ブッシュスペーサ	2
26	10781－204001	温度計	1
27	10786－201040	ヒンジベース（左下）	1
28	10762－104002	ADJプラグ	2
29	10789－204005	ADJ断熱シート	2
30	10789－201011	庫内ADJボルト	2
31	10785－109001	棚	1
32	10785－209004	棚受	4
33	10785－209002	棚柱（右）	2
34	10785－209003	棚柱（左）	2
35	10786－204005	排水ホース	1
36	10762－205002	ホースサドル	2

GR32M

部品No.	コ　ー　ド　No	品　　　名	1台当必要数
1	10786－100001	GR32M本体一式	1
2	10786－103015	右ドア	1
3	10718－103006	マグネットパッキン	2
4	10789－103004	左ドア	1
5	10786－103014	中仕切	1
6	10786－104002	すのこ	1
7	10786－204001	取扱説明書	1
8	10786－200004	ヒンジベース（右・上）	1
9	10786－200005	ヒンジベース（左・上）	1
10	10786－201039	ヒンジベース（右下）	1
11	10786－201020	ヒンジ軸（下）	2
12	10718－200018	ヒンジ金具	2
13	10789－200006	鍵バー受	1
14	10786－201037	ヒンジ軸（下）ブッシュ	2
15	10786－201022	キャスター	4
16	10786－104003	後付けアジャストボルト	1
17	10786－201026	アジャストボルト	2
18	10762－204003	荷摺り柱（大）	12
19	10782－200010	化粧シール	1
20	10786－106005	冷蔵ユニット(CR-13L6)	1
21	10786－203024	キ　ー	2
22	10705－202013	アース線	1
23	10718－204003	風向板	1
24	10786－201032	ブッシュスペーサ	2
25	10781－204001	温度計	1
26	10786－201040	ヒンジベース（左下）	1
27	10762－104002	ADJプラグ	2
28	10789－204005	ADJ断熱シート	2
29	10789－201011	庫内ADJボルト	2
30	10786－204005	排水ホース	1
31	10762－205002	ホースサドル	2

※オプション：菜庫棚10785－011001

9
連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または背表紙の連絡先へ連絡してください。

購　入　先	
住　　　所	
ＴＥＬ	

◎ 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

本社	〒437-8601	静岡県袋井市山名町4-1	☎袋井(0538) 42-3116	FAX.(0538) 45-0316
北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字亀ノ子50-1	☎古川(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923	新潟県新潟市中央区姥ケ山1丁目5番30号	☎新潟(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017	茨城県取手市桑原字桑原1424-1	☎取手(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023	静岡県袋井市高尾2620-1	☎袋井(0538) 43-2251	FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365	石川県金沢市神野町東52	☎金沢(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975	岡山県岡山市今2丁目8-12	☎岡山(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862	福岡県久留米市野中町1438-1	☎久留米(0942) 32-4495	FAX.(0942) 31-7373

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、
ご要望は下記までご連絡ください。

『静岡製機株式会社　お客様提案窓口』

フリーダイヤル 0120−702−118（携帯電話、PHSは不可）
一般電話 0538−42−3118

ホームページアドレス http://www.shizuoka-seiki.co.jp/

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

インキは大豆油を使ったSOY INKです。
弊社では地球にやさしい印刷物を使います。

10786−204001d
J0702